京城日報　十四日夕刊

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

時間表 [illegible]

總督訓示

監獄監督官會議に於て

長谷川總督は十四日朝監獄監督官會議席上に於て監督官一同に對し左の訓示を爲せり

監獄の事務は各位の努力に因り逐次改善の績を示し往年の面目を一新したるの觀あるは喜ぶべきも近時犯罪は日を逐ふて益增加し累犯亦益多きを加ふるの趨勢に在るは憂慮に堪へず各位深く此に鑑み發奮勵精して行刑の內容を充實し以て其の効果の發揚に努めざるべからず若夫れ行刑の內容を充實する所以の道に至りては固より一にして足らずと雖も其の最も主要なるものは實に遇囚の適實なるに在り遇囚の適實は各囚の罪質、犯由、刑期、犯數、性格、年齡及び健康狀態等に依り其の處遇を別異するに非ずむば之を得べからず然るに監獄に於ける實況は未だ之に副はざるものあるが如し蓋諸般の設備の完からざる其の主因たるべきも現下尙改善の餘地尠しとせず各位は須く機宜の措置を採り設備の足らざる所を補ふと共に仔細に罪囚各般の事情を洞察し之に應ずる別異の方法を案じて遇囚の適實を圖り依て以て行刑の効果を完ふせむことを努むべし

今や世運の進步頗る著しきものあり此時に當り司獄の任に在る者徒に舊套に泥み因循爲すなからむか獄務は社會の實情に背馳し遂に其の目的を誤るに至らむ各位は常に時勢の要求を察し施爲其の宜を制し以て獄務の刷新を圖るべし

妥協か解散か辭職

政府黨の各派は十二日會議を開き民黨と妥協すべく協議せり之に就き某議員の談に依れば茲三週間以內に妥協成立か國會解散か將た又現總理辭職の實現かに決す可く要するに大總統の決心最も必要なりと(北京特電)

段總理辭職見合せ

終に民黨と妥協か

段總理は十二日午後三時秘書長氏に對し辭表文案の淸書を命じたるが五時に至り俄に之が中止を命じたり右は督軍代表者李厚基(福建督軍)曹錕(直隸督軍)等の極力留任を勸告したる爲めにして段總理は暫時辭表提出を見合せ時局の收拾に就き民黨と妥協を爲す事となれりとの說あり(東京特電)

暴動事件解決如何

支那衆議院に於ける暴動事件は法律を以て解決する旨十二日附を以て支那政府より發布さる(北京電報)

英軍敵の豫備隊擊破

獨軍兵力の缺乏に惱む

フレノア及びオプレルに至る戰線に於て獨軍は豫備隊を無制限に繰出したるが英軍砲兵隊は之に向て猛烈なる砲火を集中し其大部は射彈距離に達せざる前に潰散せしめたり四月一日以來此方面の戰線にて三十五箇師團の獨兵が戰に加はり悉く疲弊せる事實に依りて獨軍が如何に損害を蒙れるかを知るに足る可し更に獨軍が如何に兵員の缺乏に惱み居るやを明確に立證するものは彼等が囚人を戰線に立たしめ居るに依りても察知し得べし(倫敦電報)

白國兩海峽管理か

巴里に於ける英佛首腦會議は戰後白耳義をして君斯坦丁堡及びダーダネルス、ボスポラス兩海峽を管理せしむる事を決定せり(桑港電報)

露外相領土割讓否認

外相ミリユーコフ氏は軍隊代表者に對して曰く極東に於ける我領土の一部を日本に割讓せりとの風說流布せらるゝも右は全く虛說に過ぎず然れども日露兩國間に日本が露國領土內に鐵道を布設せんとするの件に關し交涉行はれつゝあるは事實なりと(露都電報)

又も露國々內に動亂

共和政府を建設せんとす

露國の主要なる軍需品製造地なるシユセリベルグ地方に動亂起り地方長官は捕縛され中央政府と分離して別に共和政府を建設せんとしつゝあり(露都電報)

ル氏出征案復活

ルーズベルト氏の佛國出征案は再び米國議會に提出されたり(桑港電報)

米國社會黨の高唱

米社會黨首領は戰爭繼續を高唱しつゝあり(桑港電報)

普魯西軍隊叛亂

最近負傷後復隊せる兵士多數より組織せられたる一普魯西師團は戰線への出發命令に應ぜずして叛亂を起したり(倫敦電報)

朝香宮御視察

朝香宮鳩彥王殿下は十四日午後廣島より門司へ御來著早鞆瀨戶御視察の上關門へ向はせられたり(門司特電)

政務總監奉天著

山縣政務總監は十四日朝長春より奉天に來著午前は滿鐵附屬地其他を視察し張督軍の午餐會に臨みたるが午後は北陵宮殿等を觀夜は總領事の主催にかゝる晩餐會に臨むべし(奉天特電)

頭本松平兩氏東上

代議士頭本元貞氏東拓理事松平直平子十四日朝對馬丸にて朝鮮より下關に來著直に東上せり(門司特電)

倉知鐵吉氏歸東

中日公司の倉知鐵吉氏十四日朝奉天發京城通過歸東の途に就けり(奉天特電)

大正六年度地方費豫算

歲出入豫算總額四百五十八萬二千餘圓

前年度に比し百五十六萬餘圓の增加也

歲出入主要科目　本年度新規事業梗槪

歲入之部

大正六年度地方費歲入豫算總額は四百五十八萬二千餘圓にして之を前年度豫算に比するに百五十六萬餘圓を增加せり是れ主として本年度より臨時恩賜金の收支を地方費豫算に編入することゝなり之に屬する收入百四十五萬圓を加へたる結果にして之を除きたる純地方費歲入の增加額は十一萬圓に過ぎず而して其の增加は主として賦課金中屠場稅及び屠畜稅の課率を高めしに因れり、今歲入を種別し前年度豫算に比較し增減の要領を述べれば左の如し

▲賦課金　總額百四十二萬五千圓にして前年度に比し十四萬五千圓を增加せり、內三萬三千圓は市場稅十一萬二千圓は屠場稅及び屠畜稅の增加にして市場稅の增加は市場放賣價格の自然增加に因り、屠場稅及び屠畜稅の增加は主として保護牛施設擴張の財源として稅率牛一頭に付五十錢を增加せしに因れり

▲國庫補助金　總額百二十七萬八千圓にして前年度に比し四萬一千餘圓減少せり、是れは敎育補助金二萬圓を增加し土木補助金中道路修繕補助は道路改修里程の增加に伴ひ四萬九千圓を增加したるも道路改修補助に於て十一萬圓を減額せられたるに因れり

▲臨時恩賜金受入　新なる歲入科目にして前に一言せる如く本年度より臨時恩賜金收支を地方費豫算に編入することゝなりたる結果なり其の總額百二十三萬八千圓にして之を前年度臨時恩賜金豫算に對比し七萬九千圓を減少せるは前年度に於て大正四年度迄の凶歉救濟費剩餘額を總て基金に編入せし爲繰越金減少を來せしに因る

▲繰越金　總額二十五萬六千餘圓にして前年度に比し三萬八千圓を減少せり、是れ前年度に於ては前年度屠場稅及び屠畜稅增收に因る多額の繰越ありしも本年度は該繰越減少を見るに因る

▲雜收入　總額三十八萬五千圓にして前年度に比し二十五萬七千圓を增加せしは主として恩賜金事業より生ずる收入に十二萬二千圓を加へたる結果にして其の他の增加額三萬五千圓は生產品賣却代及米穀檢查手數料等の自然增加を計上せしに因る(以下次號に續く)

政務總監動靜

滿洲各地視察中なる山縣政務總監は十四日午前七時十五分長春より奉天著大和ホテル一泊の上十五日午前八時五十分奉天驛發同十一時十分撫順著の旨警務總監部に著電ありたり因に政務總監一行は十五日午後六時二十五分撫順發同八時三十分奉天著大和ホテル一泊十六日午前八時奉天發安奉線にて歸鮮の途に就き同日午後三時安東驛著十七日午前八時南大門驛著歸任の豫定なり

總督邸晩餐會

長谷川總督は十五日午後七時より入京中なる山梨中將を官邸に招待晩餐會を開く、當日は秋山軍司令官、立花師團長、古海警務總長、白水軍參謀長、廣瀨同經理部長、佐藤同軍醫部長、岡本師團參謀長、池內七十八聯隊長、野津軍副官、大森師團副官、谷大尉等出席す可く、總督府側よりは釜山、高橋兩武官、秘書官、大島副官等列席の筈なり

監獄監督官會議

(第一日)

監獄監督官會議第一日は十四日午前九時より總督府第二會議室に開會總督以內各監獄典獄並に各地覆審法院檢事長は勿論總督府よりは長谷川總督以下關係各部長、官、局、長、課長等出席し別項所載の如く長谷川總督の訓示ありたる後諮問及び協議事項に移り午後九時閉會したり

典獄會議日程

十四日より總督府第二會議室に於て開催されたる監獄監督官會議十五日以降の日程左の如し

五月十四日(月曜)　午前　總督訓示及び諮問事項　午後　協議事項
同　十五日(火曜)　午前　諮問事項　午後　協議事項
同　十六日(水曜)　午前　諮問事項　午後　協議事項
同　十七日(木曜)　午前　諮問事項　午後　協議事項
同　十八日(金曜)　午前　提出意見　午後　協議事項
同　十九日(土曜)　午前　總督指示及提出意見に對する內示

一、會場は本府第二會議室とす
一、會議は午前九時より正午迄及午後一時より四時迄とす
一、會議は司法部長官之を整理す
一、日程は時宜に依り變更することあるべし

典獄會議出席者宿所

▲寺田恒太郎氏(京城覆審法院檢事長代理)仁義洞官舍▲松寺竹雄氏(平壤覆審法院檢事長)天眞樓▲篠鉅次郎氏(大邱覆審法院檢事長)旭町一丁目官舍▲三井久陽氏(京城監獄典獄)孔德里官舍▲柿原琢郎氏(西大門監獄典獄)西大門一丁目官舍▲中村尉男氏(公州監獄典獄)本町小川旅館▲國分萬次郎氏(咸興監獄典獄)明治町小川旅館▲石川鎭吉氏(平壤監獄典獄)不知火旅館▲永田包雄氏(海州監獄典獄)南大門通南大門旅館▲諏訪喜太郎氏(大邱監獄典獄)京城館▲幸川正義氏(釜山監獄典獄)不知火旅館▲則近豐代藏氏(光州監獄典獄)淸光館

小原長官歸任

陸地棉栽培十週年記念祝賀會に臨席の爲め全南木浦に出張せる農商工部長官小原新三氏は十四日夜南大門驛著汽車にて歸任す

本田博士と土地調查

數日前の本紙東京特電にて本田勸業模範場長が臨時土地調查局技師に兼任せしやう報じ來れるが右は農商務省內臨時產業調查局技師の誤りにて土地調查には勅任技師の定員なく又さる事實なしと

總裁理事東上

石塚東拓總裁及び高瀨理事は株主總會其他重要社務を帶び十五日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の途に就く由なるが總裁の隨員は參事吉田英三郎氏にして淸水秘書役は東上せずと

美濃部總裁東上期

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は近く元山方面へ出張の豫定なりしも多分之れを中止し遠からず東上すべしとの事なり

鮮銀紐育出張員更迭

鮮銀營業局勤務となれる前長春支店長安田弘氏は近く紐育へ出張する由なるが安田氏の紐育著後現出張所員佐藤得四郎氏は歸朝する由

柳川中學生入京

福岡縣立柳川中學傳習館職員生徒九十二名は十三日夜入京原金旅館に投宿十四五の兩日京城を見學す

營口より

天彭生

五月十一日

本日午前八時旅順出發、午後五時營口に著す、新市街南本街より滿鐵の埠頭に出で小蒸汽に駕つて遼河を下る、時に風疾く雨急に濁流滔々として天を蹴す、船を措きて支那街を一覽し、六時半三宅領事の招筵に赴き、湧林館に宿す、總監元氣愈々旺盛なり。

大分農校生入京

大分縣立農業學校生徒四十五名は小野商畜兩敎諭引率の下に十三日夜入京三日間京城見學の上十六日夜退京平壤に赴き夫れより水原、大邱、釜山經由歸校の豫定なり

藤山氏晩餐會

大日本製糖株式會社長藤山雷太氏は今般來鮮に際し將來の懇親を結ぶ爲め十四日午後六時秋山軍司令官總督府各部長官其他各會社銀行代表者等官民の重なる人々百數十名を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を催せり

□木浦車中

河水生

○十一日午前八時半南大門發南行列車に投す、十二日木浦にて擧行さるゝ全南陸地棉栽培十週年記念會に列せんが爲なり。一行は多少地方部長の與田君に贈を交されてお鉢の廻り來りたる感なきにしもあらざれど、此頃の日永を南鮮見物は滿更捨てたものにあらず、殊に問題の棉とあれば快諾すべき理由あり、扨てこそ今朝出發とはなりたるなれ。

○車中小原長官あり、中村技師あり更に鰯雨宗匠として、ヨリ善く知られたる棉作主任の宵木鹹あり、何れも同じ木浦行なるは申すまでもなきことなり。長官の俳名は擧ろ世に知れ過ぎたり、中村技師また陰に三四百句をものにしたりといへば、此一行の俳焔この時よりぞ偲ばれける

鳥致院より食堂に入る。氏も亦木浦行の一井錦城氏に會す。圖らずも中人なれば賑ふべき分子は更に一人を加へられたる次第なり。

○大田より湖南線に乘換へれば、列車は京釜線とは比較にならぬお粗末なり。足を延べて眠らんことも叶はず、論山を過ぐる頃より俳焔漸く擧る。中井錦城氏先づ挑む。

○湖南線の車中　中井錦城

湖南風光駐車頻。滿眼平原麥隴春。
係說驛亭花草少。同行盡是農桑人。

○　館軒

竹枯るゝまで寒かりし村若葉

○長城驛にて郡衙吏員の出迎へあり。○中村技師、デッキに立ちて熱心に展況を發眼し、諄々として訓話す

○　鳥兎

一分の訓話車上に夕映す

○埋言に近頃は季のなき句が流行り申す。

○松亭里驛に著けば綾田道技師、佐藤農學校長、鈴木署長なんど道の出迎へあり、此頃より車中棉談は俳焔を壓せんとするの勢を示す。忽ち或人に句あり。

○群盲棉を餓ず汽車や暮るゝ春

群盲とは何事ぞと異論甚だ多し。作者乃ち群賢と改むべしと大讓步す。否諸君群賢は妙ならず諸賢とせよ、否諸君子が可なりなど遂に決せず、十時汽車は木浦に著せり。(十一日)

□木浦臺にて

○五年振りにて木浦に來る。昨夜十時に著きて、今日午前中は棉作十週年記念會、正午よりは木浦新報社主催の棉作組合表彰式に列し、今夜は公會堂に於る記念宴會に招待致され居り只今より出席する所に御座候今日は式と會とにて日の暮るゝこと觀念致居り候。

○午後、三十分許の閒を偸み、麻生光州支局長を促して、木浦臺と申し候市街の中央に鼻の如く隆起せる丘陵に登臨し、最も簡單なる木浦見物を致し候。臺の頂上の城壁に立てば木浦の市街は隅々まで指呼することを得申候。打見たる所家並の揃へることは、內地人によりて創始せられたる都會だけありて、朝鮮にては、京城を除けば、先づ釜山と相對す可く候。京城の如きは大は即ち大なれども、雜然たる點に於て却つて劣るものあるべしと被存候。

○目星しき建物には府廳、公立小學校、十八銀行、公會堂等あり煙突は繰綿工場、精米場等稍大なるもの數本を數ふ可く候。街路の井然として淸潔なるは特に心地よく覺え申候。市街の何となく明るき感あるは地勢に因るか、土質に因るか、或は海洋に近き爲めか、何は兎もあれ晴々としたる氣持は、また木浦の特徵と可申候。若し夫れ前面に碁布羅列せる無數の島々が屛風の如く木浦灣を包みて、潮水宛然湖水の如く靜なるに至りては眞に捨て難き眺めに御座候

○停車場附近埋立地一帶の面目改まれることとは申すまでも無之候。木浦は背面の岩山迫りて發展の餘地は一寸もなく、唯だ伸び得べきは停車場附近の干潟埋立あるのみ。されば干潟地が如何に埋立てらるべきかは木浦發展のバロメートルと相成る次第に候。然るに今日迄僅なくも或有力者より木浦は湖南線が通じて却つて淋しくなりたる樣樣ありと語るを聞き申候。思ひ當ることなきにしもあらず候。乃ち港灣の設備が其原因に有之間敷歟。木浦市民の研究を要する急務と存じ候。不一(十二日)

平壤

▲肥料と其經濟　平南道種苗場に於ては當地方畓肥料として最も經濟的なる適量を確かめんが爲に前年來種々比較研究し居れるが試驗區を最多量、多量、普通、及び少量の四區に分ち栽培せる結果に依れば或程度迄肥料の多き箇所程收穫多きは怪しむに足らざるも收穫の增加率と肥料價格と相償ふ程度即ち最も經濟的なるは反當五六圓の肥料を施せるものなりと▲水稻適種試驗　平南道種苗場に於ては創立以來各種水稻に就き栽培試驗を行ひ居れるが昨年に於ては前年來試作したる廿一種の內成績良好ならざる早生三號及び在來種、穀川、チヤタリ、北倉アイタルゾノ三種を廢し尙ほ太郎兵衞糯は之を除きて他のニシ糯と共に別に試作することとし殘る十七種に付きて比較栽培を行ひたるに本年玄米收量の最も多きは下田糯子にして常豐金子之に亞ぎ大場は第四位、金子二號第五位にあり以下八頭、豐後、大吉州、關山等の順位にて日の出種は十七種中第九位に在りと雖も其の累年平均收量に於ては(七箇年平均)に於ては日の出種は斷然他を抜きて第一位を占め常豐二號は之に優ると雖も試驗は未だ二ケ年に過ぎず更に品質に於て日の出種は依然優秀なるものあり即ち是の最も栽培年數多き平均に於て優良なることを示せる日の出種が當地方の栽培に適することは動かすべからざるものあり而して八頭、大吉、豐後、常豐等は日の出種に亞いでの良種たること前年の成績に同じく、チユンチヨンモツペ一太郎稻德川南租は在來種としては良好なるものにして內地種の不適なる地方等に栽培すれば可なるべしと某當局者は語れり▲江岸整理の內容　平壤府は既報の如く本年度に於て一萬二千圓を投じて江岸整理に著手する筈なるが該事業は元來第二期繼續土木工事中の一部として取扱はれ經費も六萬圓內外を計上せられたるものにして一萬二千圓位の工費殊に使用權回收に八千圓を費せば殘額は僅に三千圓足らずにて到底滿足なる修理を爲し得べき筈なければ兎に角完成は他日に俟ち差當り使用權を回收し且つ地均及び江岸の甚しき凹凸を修理する等應急の施設を爲す筈

人事消息

▲新井新吉氏(實業家)　十三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲白井水城氏(辯護士)　十三日海州へ
▲川崎吉兵衞氏(實業家)　十四日朝退京
▲久我商衞氏(朝鮮銀行安東支店長)　十四日朝入京不知火旅館へ
▲中村辰五郎氏(圖滿業)　十五日退京釜山へ向ふ答
▲中村耕七郎氏(同上)　同上
▲島田鹿造氏(代議士)　十四日朝入京西尾旅館へ
▲白石赤郎氏(山林業)　同上
▲宮本高次氏(運送業)　同上
▲岩熊藤一氏▲菅野政次郎氏▲松本市太郎氏▲西村宗藏氏▲岩佐元十郎氏▲田中駒太郎氏▲谷藤太郎氏▲村谷正夫氏(以上釜商)　同上

戰亂と露國革命（一）

―世界平和の爲めに惜しむ―

教育總監部本部長 山梨中將談

入京中なる陸軍教育總監部本部長山梨中將は往訪の本社記者に語つて曰く

西部戰線に於て近來獨逸軍がソアソン、ブロンドモン、エーヌ河畔等に於て屢々利を失ひ佛軍が漸次成効を收めつゝあるを見ると獨逸軍の勢力が甚だしく薄弱に成つた事が明瞭に想察せらるゝ獨逸は露國革命以來東部戰線に在る露國軍隊に對して盛んに流言を放つて其の

○懷疑混亂して 甚だしく戰鬪力の減殺せるを見るや其の主力を擧げて西部戰線に向けたのである されば獨軍の元氣が開戰當時の半分ほどでもあらば今日西部戰場に於て佛國から勝を制せらるゝが如き事は有るまいに由て獨軍が如何に其の本來の精鋭を缺ぎ薄弱に成つて居るかを察すべきである茲に於て予は露國の革命が聯合國の爲め又世界平和の爲め甚だしく

○障害と成つた 事を痛切に感ぜざるを得ない露國の革命が切めて今半箇年も遲かつたならば今頃は東部西部各戰線に於て聯合軍は著々成効して居るに相違なく又平和の時期も隨つて早く來たであらう今日東部戰線に於ける露軍は獨逸に對する戰鬪よりも其の內部に於ける將校兵士の軋轢、兵士と勞働者との衝突等に狂奔して居る

○獨逸に取つて は今や東部は殆ど憂ふるに足らなくなつた近頃ある通信に由つて見ると東部戰線に於ては第一線に在る獨露の兵士等は互に握手して交遊して居るとも聞いて居る果して事實であるか否うかは判らぬが兎に角獨逸が此の方面の兵力を大に節減して西部戰線に向けた事は事實で而も猶今日に於ては

○彊弩の末魯縞 を穿たずの諺の如く屢々佛國の爲めに敗られて居る故に露國に於て革命亂勃發せず戰線に於ける實力を維持して居つたならば今頃は疲勞困憊せる敵を容易に擊破し得たるならんと甚だ遺憾に堪へざる處である露國の革命は英國の民主內閣の助力に由つて成立したものであるが

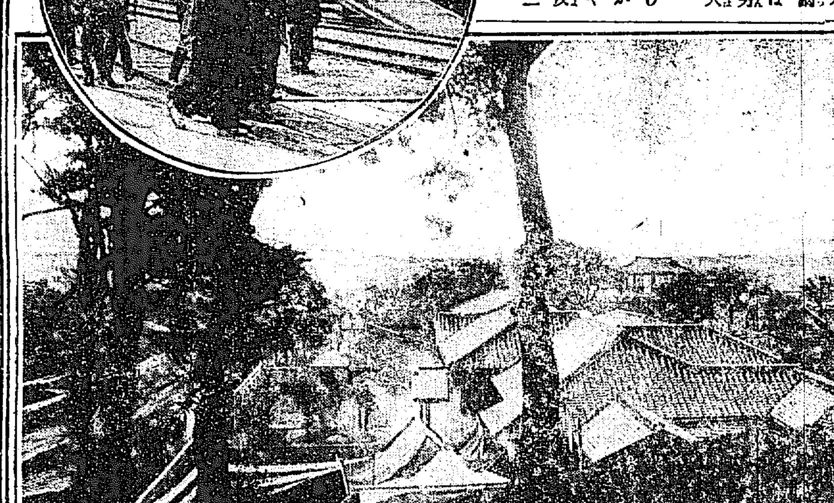
○英國の內閣も 露國の革命を今日の如く拾收すべからざるが如きものとする事は勿論其目的ではなかつた最初は單に露帝の周圍に在る親獨派の勢力を驅逐して擧國一致を以て獨逸に當ると云ふ事が其の目的であつた然るに革命一度勃發するや騎虎の勢は遂に皇帝の退位を止むなくせしむるに至らしめた、露國に於ては勿論改むべき事は澤山にあつた革命は遂に免れ難い情勢では有つた而し戰半にして革命を起し

○內外の憂患を 一時に受くるは頗る策の誤つたものである露國民は此の革命に由つて何程の幸福を克ち得るであらう露國は此の革命に由つて何程の光輝と名譽を得るであらう、勿論歐洲の皇帝は我が國の開闢以來君臨し給ひ民の慈父慈母に在します 天皇陛下とは其の精神に於て雲泥霄壤の差異が有るがそれでも其の皇帝となり

○國家の主腦に 在らせられ幾多の歷史と國民の崇拜とは力の外の偉大なる力を以て國民の上に臨んで居られたので此の主腦を失つた國家は腦の中樞神經を破壞した人體の如く直ちに死せざれば全身不隨に陷つて終ふ譯である

◆李王殿下御旅行（上）

●永興驛御著の殿下● 李王殿下には十一日午前十一時永興驛御著プラットフォームからは黃色の陽傘をさしかけた下を靜々と御進みになり、驛頭に設らへられたる天幕の裡に御休憩、此處にて永興附近李朝太祖の誕生の地濬源殿の參奉等に謁を賜はれた、寫眞陽傘の下なるは李王殿下、中央の武官は趙東潤男、その後方は李載崐子爵、後ろに大きくうつりしは金事務官（十一日）



（下）●咸興の殿下御旅館● 咸興に於ける御旅館は蟠龍山の老松に春雨が煙つて、表門には幌かけし腕車や自動車が出入する、殿下の本宮及び定和陵御展謁は雨の爲めに十三日に延べられた（十二日金谷特派員撮影）

旺んな北鮮の鑛業熱

―凄じい探鑛家の競爭―到る處の岩石に金槌の跡― 大仕掛の茂山大鐵鑛

昨今北鮮に於ける鑛業熱は著しく勃興し來つて內地には南鮮地方から入込んだ多數の探鑛者の外地方人まで此熱に浮されて中には本業を放つて奔走するもあれば田舍旅行者は洋服ならポケット和服なら袂の裡に必ず

○石塊の二三 を入れ置く又た何處の家にも纏つた石塊がゴロ〳〵して居ると云ふ有樣である斯く北鮮の鑛業熱が盛んになつたと云ふ原因は一時北鮮には有望な鑛物なしとして世間に閑却せられてあつたものが近頃に至り頻々として有望なる鑛區が發見せられ而も其二三の村は既に山が當つて一攫萬金を握るに至つたので之に唆られて我も我もと

○探鑛に狂奔 するようになつた此の鑛業熱は昨今北鮮一帶であるが殊に甚だしいのは國境方面で其中心點とも思ふべきは淸會線と茂山街道に挾まれた茂山會寧の兩境地帶で此地方は例の茂山の大鐵鑛が發見せられてから俄に探鑛家の注目を惹き今日では茂山街道沿線及び淸津附近の岩石は悉く金槌の跡を印すると云ふ有樣である茂山の大鐵鑛は東洋一と喧傳せらるゝ丈あつて仲々大したもので位置は淸會沿線古茂山驛より

○茂山街道に 進む事約九里位の所から國道を挾んで兩側に在る茂山郡の邑面、東面會寧郡の鳳儀面此三面に亙り約三里四方の間は殆んど全部鑛區である其中採鑛許可を得たものは一箇所で目下出願中のものが二十一鑛區ある許可鑛區は昨年茂山地方人が發見出願に係り同鑛區は今回三菱系の手に買收されたものであるが又た出願中の二十一鑛中十三鑛區は三菱系の出願で

○他は地方人 の出願であるが將來は三菱で買鑛し經營することであらうとの事で現に三菱では其買鑛區に就て既に採鑛及び運搬方法の調査を遂げたとの事である同地の鐵鑛は其含有量五十パーセント乃至八十二パーセントに及び其の鑛量に至つては殆んど豫測し能はざるもので茂山街道から見ても其眞黑に光つた露頭のみでも隨分大したもので表面にゴロ〳〵してある點石のみでも

○二三十萬噸 位はあるだらうとの事である以上の外同地方には尙ほ有望なる鐵鑛區二三と他に種々なる鑛物が發見され同方面は今や採鑛家競爭場となつて互に秘密暗々裡に劇甚な競爭をやつて居る從つて鑛區出願の競爭も隨分猛烈で凡て電報で京城に言つて遣り出願の手續を爲しつゝある（淸津）

西願本寺管長 代理危篤

西本願寺管長代理近松尊定師は昨今病勢募り危篤の狀態にあり大阪赤十字病院にて丸山醫學士詰切り療養中なり（大阪特電）

高壓釜爆發して重傷三名

十三日午後大阪府下西成郡鷺洲町大阪化學研究所第一分室內高壓釜が俄然大音響と共に爆發し重傷者三名を出せり（大阪特電）

電車と牛の衝突

十二日午後二時半頃京城電氣株式會社の東大門より淸凉里行百十七號車が崇仁面祭基里を進行中折柄高陽郡漢芝面往十里の安白延（三七）が牛車を曳きて來かゝりたるに件の牛は電車の音響に驚きて俄かに手綱を振り切りて狂奔し電車線路に走り込みたるより電車は直ちに停車せしも惰力の爲め牛は救助網に觸れて破損せしめ損害二十圓を蒙りたるが乘客及び牛は負傷せざりしと

工學士の慘死

茨城縣日立鑛山工學士石崎良平氏（三七）は十三日頭上に岩石落下し慘死せり（大阪特電）

石油爆發して大火傷

去る八日午後二時半頃慶北金泉城內町居住石油商林鳳煥方より出火し店頭に在りし石油二罐爆發して火は一面に擴がり林は全身火にて圍はれ大く火を消し止めたり損害及び出火原因目下調査中なるが林は重傷を負ひ居り昨今治療中なりと

總督府運動會

總督府傭人運動會は十三日午前九時より開催し交換手裁縫競爭經師職の松竹梅拵繪競爭大工の作業競爭自轉車二千米突競爭（一等朴甲龍）徒歩一千米突競爭（一等岩垣恒諄）給仕の鑑太鼓競爭等あり續いて狐の嫁入西鄕銅像除幕式假裝行列神輿擔ぎ綱引き等奇拔なる餘興數番あり來賓觀客堵に充ち頗る盛會なりき

隨從記　金谷生

李氏一族の人々を接見せらる ―第五信―

咸興に於ける李王殿下は十一日自動車の旅も御疲れなく十二日は朝から非常な御機嫌にあらせられた

◆御旅館にあてられた咸南道長官々舍の御庭からは蟠龍山の松が枝を透して十四平方里の咸興平野が一眸の下に集る、折から城川江の流れは白く西湖の海につゞき靑い楊柳の村々には春雨が煙つて大咸興の鳥瞰圖は一大パノラマの如く展開してゐる

◆殿下には十二疊敷の御居間から金色の椅子に倚らせられつゝ此の雄大な眺めに御感興深く近侍の人々にもいたく御滿足の御言葉であつた

◆午後一時半からは更に咸興から海岸西湖津街道の畑の中、本宮に御參拜の筈であつたが折惡く降雨の爲めに御沙汰止みとなつた、本宮といふのは李朝の太祖から逆に溯つて桓祖、度祖、翼祖、穆祖の神位を祀つたところである

◆それで太祖大王の御父桓祖を祀つた定陵にも桓祖の王妃を祀つた和陵にも御展謁の儀はお取やめになつたしかし御宿附近蟠龍山の雨は未だ格別で古い文廟の甍から廟に立つやうな楊柳の新綠や納のやうで庭前の林檎の花も淡紅色にほゝ笑むで居る

◆殿下は未だ咸興の人々が獻上した名物の咸興梨（水香梨）や質朴な咸南の民心を表徵したかのやうな蜂蜜などを賞でられつゝ李朝の御先祖から分れた古い御血統續きの璿派とよぶ李氏一族の人々にも謁見された

◆御一族の人は單に咸興ばかりでも一萬人からあつて咸鏡道全體から算ふれば數萬人にのぼるとの事である

◆次に太祖大王のお產れになつた永興の本宮濬源殿へは十二日御附武官李範侯を御名代の擬行に遣はされる筈になつてゐたがこれも雨の爲め延期になつたので祭祀は永興郡守李秉幹氏が御祭りすることゝなつた

◆殿下には興膳職趙東源氏が注意をして差しあげる御料理を召されつゝ京城から御取寄せになつた一粒選りの御飯を召しあがる、炊事方には總て灰色の裳をつけた簡たけし至常の女官が司る

◆夜に入つて市道長官以下の道廳の人々から隨行員の一部と共に開かれた御晩餐もすべて純朝鮮式の御催しであつたと承る（十二日夜咸興にて）

仁川に天然痘

十四日仁川港に碇泊中なる下山丸乘組火夫二口與郎（三七）は天然痘に罹り此れが爲め午前十時出帆の筈なりしも午後六時に出港したり（仁川）

讀者文藝

一等に五十錢（衍斷券を呈す）

▲俗謠

▲霧を浴で別れた汽車の 窓が未練に舞戾る　京城 松浦蕉の家

▲背嚢藏から鈴の音漏れて 寂寥 驛凉しく懸る風　すいは

▲汽車も私も急ぎの旅で 小い驛にはとまりやせぬ　不壤 太郎坊

▲汽車の窓から何振る主と 駅に泣く身の胸と胸　龍山 乃美

暴行主謀者公判

慶北金泉郡鳳山面大和洞居住鐵道工夫盧換文（三七）安住龍（三二）鄭聖云（二八）金雅世 ……鮮人李聖石が入り來りて遂に爭論をはじめしより太田夫婦は現場に驅けつけこれを制止せんとしたるに前記百 ……の公判開廷せられたり

連絡船上陸客

十三日午前八時三十分釜山入港新羅丸一二等客寺田通信局長……

十三日午後九時四十分釜山入港對馬丸 田中英夫、山路吉、岡本ことあ、林ゆき、田中かず子、岡輔一、福原以、板井やな子、中原元次、尾崎梅太郎、河野すみ、永田猛九郎、奥田猶市、小南秀藏、宮本高次、白石亦肥、三等三百七十七名

實修栽縫學者近況

最に京城の有力者……

課題及募集規定（讀者文藝）

▲川柳ー「切」發表十五日

▲俗謠ー「…」十四日 同十五日 同十八日

募集規程

▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事▲總て一種二句以內の事▲…

天氣

晴れ時々曇り（十四日午後六時より十五日午後六時迄）

五月十五日 測候所 …

日出 午前五時二十五分　日沒 午後七時三十五分

滿潮 仁川 午前十一時四十七分 午後十一時… 干潮 仁川 午前…時… 午後…時…

商況

公債直取引（東京）

十四日川來値 五分利 九七、九〇

五分利　五分公債　四分利　甲…

深川正米特電

十四日現在高 內地米 鮮米 臺灣米 一七六、二七四 五九、三三七 一、六七六、六五五

東京期米特電

十四日前場 寄付 高値 安値 止め 五月限 一八、三〇 一八、四〇 一八、九〇 一八、二〇 一八、〇〇

大阪株式

銘柄	拂込	十二日後場	前日
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都電燈	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米特電

十四日前場 寄付 中限 先限 一七、三〇 一八、〇〇 一七、九〇 止め

下關期米特電

十四日前場 寄付 高値 安値 止め 中限 先限 [illegible]

雜報

綿糸引返す

戎の間迫より……綿糸當限は頃來二百二十九圓の新高値に漲られ延いて先物も二百〇八圓迄迫上りて聊か勢ひに乘じ騰きたるが休日前相場不味に傾き先物は二百六圓臺より漸く十圓に返し貝に一圓弱あらんかと思はしめしが休日明の今前場は米綿一圓二十錢高糸綿先物二百九十圓高ありて跳返へ二十錢近く高し

跳返へ粗布又先物 七圓九十錢 と弱硬の成行

二百餘丁

正米益々强硬

形米 正米は益々强硬にして十二日米地場相場は上玄十四圓三十五錢見當へさなり精白は原料品の影響に一層昂しも安値より約七八十錢高の十六十六圓八十錢より

更に二十錢方を引 十七圓に上りて延

賣物殆ど皆無

調步況狀方地の近最しなが樣模のろむ華賓京は相場地方は非常に割高にて地場自ら十八圓內外の見當を持つにあらされば商談進まず精米口は止むなく比較的仕易き地廻りのみ賣望まれつゝあるも之又地方高に連れ追々相場引締まらん傾向なり白米相場は此處一兩日中に十七圓五十錢前後迄上らんといふ

滿洲產の色豆

過般北海產色豆類の奔騰に次いで小豆また未曾有の高値を示せしより鮮滿各地之が餘波を受くるに到りしが從來鮮內には小豆の外は色豆の產乏しく市中需用品の如きも一旦大阪に集りたる品物を轉輸し來れるのみにて殆んど無關係なるが如きも間島地方は滿洲及び露國にて產す……

內地市場に輸出

額は甚だ多し 未だ明かならず今冬汽船沈沒の際に發見されし色豆の如きは稅關表には單に大豆とのみ記入しありたるに徵するも正確なる統計なきに依るべく又其作付反別の如きは一層不明瞭なりされど其趨勢からおしつゝ額に上り年々增加しつゝあるべしと推知し得べし本年初めて其地產の鮮元の類市中に廻來せるが値も內地……

年々增加

石炭の入札

各地の石炭納め附せらる炭價格折合はずして再入札に附せられし事は既報の通りなるが此中仁川は本日群山木浦は明日を以て再入札行はるゝ筈結果豫想し難きも多分前報札値近きあたりにて落著すべく又行き惱みし濟州納めの分は總坪二千噸乃至二千百噸持ち込にて噸當り十八圓八十錢と決定し三井物產は既に輸送開始せり

山城新茶走り

山城 新茶第二回は本日さして宇治來場物一貫目宇治市場商店に到著せり色澤香味共に佳良なるが値段は產地の漸落に連れ前回の分に比し……一圓六十錢

明太魚產地高

太明 魚は相變らず品薄を告げ產地强硬にして於近元山よりは上物二十七圓五十錢搭取二十二圓を稱し居れるが當……

洋灰遂に八圓

セメントは依然暢旺にて納品も容易ならず値段も狂奔しつゝあり去る六日官廳向仁川釜山納め小野田六萬大樽八千樽の入札ありて淺野セメント及び日本セメント兩社納札せしも價格未だ折合はざる由なるが一方大商の仁川航路は四月頃の分が二回に減じ且朝南浦に延航する事となり京城に輸入の途遲て品薄を告げ居る……

積取り愈々困難

滿州粟は產地に騰貴し前場後更に騰貴し十二日當は四千錢平均の四圓七十九錢さへ飛び遂に四圓二十錢高の本年初めて高値を現はせり

粟復產地高

麥酒と生麥酒

去月初旬の値上げ後久しく靜觀を續けたる麥酒も先約物の賣り切れに從ひて値段上り來りたるが先月末頃よりは小賣店も値上げに近づき更に本月初め櫻の花の頃に到れば……

漸く各社とも發表價格に達る……如く消費力減少も稍に一時の相變に過ぎずして各特約店の消化力頗く何

森仲買店

仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 電話店用 長九〇五番 本宅電話 長六二二番 八三二番

京城正米

相場を引締めつゝあり朝來の唱へは上玄十四圓三十五錢中十三圓八十五錢下十三圓三十五錢見當にて十二日來約二十錢高の見當なり

地方の人氣益々高く京釜沿線地方中當地より大田迄は値段の如何に拘はらず賣物なきん傳へ湖南線其他の方面は兎々賣物なきにあらざるも非常なる割高にて到底買氣を逍むるの餘地なきもの如し地廻り又他所に比すれば聊か壯昂しき雖地方高に連れ……

南大門の廻穀

逸仁玄米二〇二叭 馬洞來三三〇叭 群山白米一八九叭 平澤白米三二〇叭 水原白米一一〇叭 平澤白米二〇〇叭 平壤麥五八叭 平壤胡麻三〇〇叭

仁川現物市場

▲籾入津二百餘俵 氣配硬らさる唱へ

▲正米入津六百餘叭 氣配變らざる唱へ

▲大豆入津なし

釜山穀物（十三日）

▲正米（又々二十錢高）本邦定期米は一昂一低小往來に過ぎずして然して本朝當市場賣り物としては至極稀薄なり當地買望人は依然として精米口の必需原料買にして移出口は更に買氣なし肝腎の精米口も昨今朝鮮白米の賣注文促し來ると見らく買氣促したるも米主は依然さして商賬の一方相場益々暴騰し二十錢高を以て午前中玄米三千俵の商內ありたり

生魚市場

（日の丸市場）可成りの入荷あり大邱より初めて鮎入荷建値左の如し タイ一七、アマダイ一五、サバ一八 スズキ七、ヒラメ七、アナゴ七、サバ一〇、アゲ一一、ヲエビ一二、ニベ八、イカ九、アイ一二七

釜山水產市場（十三日）

南鮮漁期に入りたるより昨今は入津增加しつゝあり本日は九龍浦附近のサバ豐漁にて六千三百尾の水揚あり 入船數五〇五隻 十貫目建 △タイ十三圓△小フカ四圓△アマセ十七圓△ヒラメ七圓△サワラ十二圓△アナゴ七圓△タコ六圓五十錢△メバル七圓△ブリ十圓△アジ六圓△サメ五圓五十錢△雜魚五圓 水揚高一千三百九十圓五十二錢

仁川期米

▲十四日前場 兵庫前寄十七 大阪 天候小雨 前寄十八圓〇九錢

一昨より六錢高の入電にて當地當十三圓七十五錢と上仲引先十四圓四十二錢と五錢と押したるが押目は又買物多く四十錢と跳れたるも買物多く折損大阪四節十一錢七節十五圓と高移り利喰に新規に買物現はれたるも益多く一兩四錢と依然强硬の成行を示して散會

更に新高値に沸騰

仁川米豆取引所仲買人 堂藤榮之助

仁川海岸町三丁目 電話長三六七・三六九 略號（サ）又は（ヤマサ）

期米 賣買

▲十四日前場 當限㊀十三圓七十五錢七十錢三錢平均値段七十四錢㊂七十五錢三錢平均値段七十四錢出來高千三百石

▲中限 ㊀十三圓八十七錢八錢平均値八十八錢㊃九十五錢㊂九十五錢出來高六千二百石

仁川米豆取引所

十四日の七月限

前場 寄付 十四圓十二錢 止め 十四圓十三錢 高値 十四圓十九錢 安値 十四圓四十錢 出來高 八萬二千百石

平均値段 一節 十四圓四十三錢 二節 十四圓四十九錢 三節 …

十二日後場 四一、四二 四三、四七 四六 一〇高 一六高 前日と比較

山三の再開業

整理中なりし㊂仲買店は今回山三と改稱し今前場より再び開業したり

市場零聞

▲更に新高値 天候曇 大阪の上寄を受けて十四圓四十二錢寄付き直に四錢と跳れたるも利喰に新規に賣物多く四十錢と押したるが大阪跡高を受けて㊀今日㊂寄㊁より頽れに新規に物現はれ一圓㊀㊁今㊃㊂の其他より利喰に新規に能く買向ひたるも遂に五十四錢と更に新高値に沸騰し三錢と散會

▲正米界の弱保合 市況は正米界の稍利喰急と告げたり……候の回復に傳はる天候の感ありたるも何分にも買氣旺盛の折柄大阪跡高に買氣ん漸鈍し人氣は又復沸騰を來し如何にも强硬の成行を示したるが今後の變動如何

▲人氣沸騰す 一昨後場人氣の沸騰を來したるも利喰の續出に行詰へ模樣を呈したるが今前場に至り正米界は依然弱保合を傳へたると天候も漸く回復したるも大阪高にて

▲五十四錢の新高値を現出するに至つた斯る場合人氣は又復買氣を增し遂に……

▲買氣依然旺盛 新市…盛なり大阪高正米高に連れて人氣一變買人氣旺盛を動機さして人氣一變買人氣旺盛したるが大阪の押しに連れて一時押目を見せたるも買氣は依然として衰へず大阪安も正米の情勢も頗著せず更に昂騰を持續して殆んど熱狂に等しき場面を演出したるが今や又大阪高を受けて更に新高値に暴騰するに至つた然るに人氣は依然として買氣旺盛を極め相場の昂騰するに隨ひ益

▲單純な掛引 が閑人氣にしてすたる玉には利が乘る利喰する一面買直し斯る者ならん一つには買氣の熾烈に依る者ならんも斯る旺盛を極め居れり是等現今の商人氣に者にて此間欲張筋も能く買向ひ居るも騰虎の勢ひ又多何ともする能はずして人氣は益買逸り來らん形勢である併し斯る買人氣の一朝變化を來さんか或は意外の反動なしとも保し難く此處大に注意を要する者あらん

▲前場の手振左の如し ▲㊉同店より賣りたる玉數無慮一萬九千餘石に對し買ひたる玉數九千餘石に上りたり ▲㊆同店より賣りたる玉數無慮一萬八千餘石に對し買ひたる玉數三千餘石に上りたり ▲㊃同店より賣りたる玉數七千餘石に對し買ひたる玉數無慮二萬餘石に上りたり ▲分同店より賣りたる玉數無慮一萬八千餘石に對し買ひたる玉數一萬千餘石に上りたり ▲㊂同店より買ひたる玉數無慮一萬千餘石に上れりとの事 ▲㊆同店より賣りたる玉數六千餘石に對し買ひたる玉數八千餘石に上りたり ▲㊂同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたり ▲㊁同店より賣りたる玉數三千餘石に對し買ひたる玉數四千餘石に上りたり ▲㊅同店より賣りたる玉數二千餘石に對し買ひたる玉數三千餘石に上りたり ▲㊈同店より賣りたる玉數三千餘石に對し買ひたる玉數二千餘石に上りたり ▲㊀同店より賣りたる玉數千餘石に上りたり ▲山三同店より賣りたる玉數千餘石に對し買ひたる玉數三四百石ありたり

㊐仲買店

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 電話 長二八二番 長二八三番

仲買店

仁川米豆取引所 主任 西川平治郎 電話 長一五八 長一五九番

…の七名は數十名の鐵道工夫と共に去…月二十三日同地に集合し酒宴を開き居る處へ同地石工太田芳太郎方雇…方をはじめとし後藤松次郎、金澤…三、河野芳藏方を襲擊し障子其他を破壞したる一件は此程大邱地方法院…

名品揃ひ

東九縉紳千五百名を引付けた秋元家々寶の入札會

古美術品の相場に新記録を作らんと呼の高い秋元家の家寶入札會は十一日幕を明けた、會場の兩國美術倶樂部は準備萬端整つて門前には天幕張りの受附を設け

▽門内も一體 に大玄關まで天幕を張り詰めてある、立招牌に『秋元家御藏器入札會』と書いたのも此處では新例であるだけ器の字が莫迦に目立つ、何しろ方今の好事家や成金氏が待ちに待つて居たのであるから此日招待を受けた特別客は朝七時頃から

▽疾くも車を 乘り附けたのがあつて益田孝氏 安川敬一郎氏等も早い出馬、三井八郎右衞門男が來る、神戸の川崎芳太郎氏も見ゐる 毛利公、蜂須賀侯など名門のお歴々も拜見し、京阪から内田信也、勝田銀次郎、成瀨正行の諸氏も來場したのも午前中で隨分繁昌した、午後五時の閉場間際に姿を現はしたのは山本條太郎氏でそれまでに原澤伯、金子堅太郎子、高橋是清男、近藤男、安田善次郎、馬越恭平等諸氏等約千五百名に達したといふことである 丁度正午頃であつたらう札元に取つては

▽今日の氏神 秋元家の當主春朝氏が其瀟洒たる風采を現はすと紋服袴に威儀を正した札元連中が一齊に敬禮を行る、斯る中で高橋箒庵氏は札元同樣胸間に徽章をブラ下げて專心知人に陳列品の

▽說明を試み て居る、さるにても目的とする名品珍器は全部を擧げて僅かに二百六十點であるに來客の多くが其々希望ありとすれば勢ひ競爭になつて破格の高價を呼ぶことにならう扨

▽人氣の集中 を見るは何品であらうか階上の第一室から最後の第十一室までを通覽するに信實の榮華物語は現存三卷の一で高貴なるのみならず朝廷恩賜の品だと先子爵の語られたこともある名品なれば第一に位すべきだが巨財を惜まぬ後進鑑賞家には啓書記筆入京帖の方が

▽先づ眼に入 つて之れが近頃となり十萬圓以上幾何に上るであらうか問題、榮華物語は先づ次位に立つかも知れぬがそれでも大差はあるまい、元信の大幅、正信の虎溪三笑、同山水双幅、啓書記の觀音と山水の三幅對、小倉色紙、印つら及打出の二名物茶入、行光の天狗草紙、光信の繪草紙と大價に上るもの を數ふれば却々多數であるが

▽傑構づくめ なのは蒔繪の器物で殊に秋揃ひである中でも幸阿彌の黒地檜閑山水埋物入十種香具を主として黒地吉野山圖料紙硯、宇治橋蒔繪硯箱は最たるものである、標來の貴重なる品では第一に梁楷の寒山拾得がある元は探幽所持で

▽立派な記録 も添つて居る、梨地桐蒔繪の匣に納められた樂器一切も中に新羅三郎所用で夕顔と銘した鳳笙が倚く、織田信長傳來の大淵と稱する琵琶は弘文院林學士の手記に由來が詳しく知られる、聞次平の中山水一幅丈は相阿彌の添書が有ると無しとに拘らず素晴しい傑品である(東京)

鮮婦人苦學して

東京盲啞學校を卒業す

平壤盲啞學校長に育まれ長じて同校に教鞭を執りつゝありし鮮婦人吳聖子(二七)は世の進運に遲み高等盲啞教育を受けんとするの志禁み難き折柄、個な時の總督府醫院長藤田軍醫總監に懇願し

◇其志に感じて 特に面會を許し種々懇切に内地に於ける盲啞教育の狀況を說き聞かせたるより本人は愈々東都遊學の臍を固めたるも他に寄食する身の餘財あるべき筈もなく此の上は如何にもして學資を得んものと妙齡の身も厭はず髮飾り身の廻りの物を節約して管只貯蓄せる中其の健氣なる志に同情する者多く殊に時の道長官夫人松永濟子及び鮮銀支店長吉田節太郎氏など

◇尠からぬ金品を惠み 十一ル夫人亦學資の幾分を貢ぐとなりたれば人の情に感激せる吳聖子は決然平壤を發つて横濱に至り同地立教女學校に入りて専ら國語を修め遂に去る大正三年東京盲啞學校に入學の身となり足らぬ勝の學費に身を削る思をして雪窓に親しむこと四年今回芽出度く同校技藝科鍼按科を卒業し此程歸壤、目下平壤盲啞學校寄宿舍内に起臥し

◇教鞭の傍はら 一般の按摩マッサージの需に應じ居れるが、朝鮮婦人にして東京盲啞學校を卒業せるは同人を以つて嚆矢とす因に同人は自分の成業は一に前掲の人々の惠みに因れりとて感淚に咽び居れる由(平壤)

流離の民

悲慘なる寧遠罹災民

平南寧遠地方は人も知る如く文化に遠りたる僻陬の地にして面積は約百四十方里に達せるも人口三四萬に足らず曾つて鍬を入れざる平野斧を加へざる森林到る處に散在するも交通の不便と人口の稀薄なる爲め物として殆んど見るべきものなく住民は馬鈴薯を常食としそれさへ得る能はざる時は草根木皮に命を繫ぐこと珍しからず、邑を二三里距るれば貨幣も通らず今の世に尚は物々交換の遺風を存する程の土地なるが去る大正四年未曾有の出水には元來谷間河邊に住へる彼の地方のことゝて人畜の死傷少からず辛うじて命を取止めたる者に依つて長き邊の御救恤を多く實に慘憺たる狀態に陷り、其後彼等が唯一の賴みとせる耕地を流失せし者は簡易なる其生活をすら續くる能はず接郡、隣道果ては間島滿州方面に流離する者四百幾十戸約二千人に上りたるが太古の如き同地方に住ひたる彼等は到底世智辛き世の荒波に堪へ得べくもあらず、元木に優る埋木なしの譬も泌み〳〵身に泌みたるものか過般來續々歸來し已に歸來者三百餘戸千五百人となりたるが彼等は曾つて牛一頭さへあれば處嫌はず國有林を燒きて火田を作り之に倚食するの例なりしも今は取締嚴重なる爲歸りはしたもの〳〵磧と當惑の態にて彼等を救濟するには其日より耕し得べき耕地を與ふるより外に策なく然かも前記の如き狀態とて未墾の地の放つてあるべき筈なく當局者も之には困じ果て目下頻りに救助の手配中なりと(平壤)

職工風の曲者

頃日京城市中を電氣會社の職工の風體をして電氣及び瓦斯引込みの家を訪問し一寸電線を檢べますと上つて行き檢査するやうに見せ掛けて家人の隙を覗ひ手當り次第の品物を攫つて行く曲者がある又建築請負大工の風をして法被掛けの男が各町所在の總督府の官舍に行き主人の出勤不在中私は官舍修繕の爲め見に來ましたと恰かも營繕課からでも修繕の請負をしたやうに威張つて上り込み各室を經周つて何でも竊んで行く曲者があるさうだから一般の警戒を要することである

今が古著の賣れる時季

近來は質流れが高いので衣替への時期に近づいて來たので古著物が大分動くやうになりました每年花見時になると例のやうによく賣れるのですが、近來は質流れの品物がないのと

◇新物が高い のとで景氣は餘りよくありません。古くから商賣をしてゐる人に聞くと、今迄は儲かつたが最近はまるつきり儲からなくなつたさうである、これは與さん達が狡猾になつて、古著屋へ賣るにしても四軒も五軒も當つた上、中で一番値のよい所へやるので容易に儲からないのです。古著物で一番多いのがお召で、流行の品だけに

◇賣口も早い 今の古著と昔のとを比べると、昔は品質を第一としてゐたが今は柄次第で、少し品は惡くとも柄さへよければ買手が早いので古著屋は商賣にならないとこぼしてゐます。此んな一面から見ても現代は如何に表面的な虛飾の生活をしてゐる人の多いかが分ります。紋付物はどうかといふと紋の中でも

◇世間に多い 五三の桐、抱茗荷、横木瓜、三つ柏、酢漿などは買足が早いので古著屋でも喜んで買入れます。それに品物さへよければ丸の中の紋だけを洗つて、向きのいゝ紋を書き代へるので、お客はそんなことゝは知らないので買つて行きます。然し品の惡いのになると、紋洗ひをしてゐる中に生地を損ずるのでさういふのに會ふと古著屋も上つたりです

◇古著の出る 時は重に暮の中で新調すると同時に今迄のは下にやるとか何かにし、自然に市場に出ますが買手に男が多いか女が多いかと云ふとどうしても女の方が多いのです柄と値段と寸法とが合はなければ相手に氣に入らないので一つの品物が賣るのには骨が折れます。今はセルとネルとの時季ですがこれは品少で値段が高いやうです

鶴嘴一本で世を渡る 金掘り

朝鮮の鑛業界を組織する一分子として德太なるものがある、近來朝鮮の鑛業が急足の進歩を遂げるので彼等は丁度暗室から白日の下に放り出されたやう非常に面喰つた、幸に官憲の保護指導に依つて生活の根柢は亂離するを免れてゐるが彼等の慣習彼等の生活狀態は著しい速度で變遷してゐるさうである、昔は兎も角今は斯うだと或る鑛業家が物語つた彼等は單獨でやつてゐるのもあれば三四名乃至七八名の

▲組合組織で經營 してゐるのもあつて其殆んど全部は七八名いなり十二三名多いのは廿名からの部下を有つてゐる、某の金山に稼ぐとなつても決して給料で雇はれるのではなく當てがわれた一定の坑を掘つて採鑛した四分の一とか五分の二とかを鑛主に納める宛然農家の小作人と云つたやうな風だ、專門の技術者を抱へてゐる鑛主でさへ脈が小うなつたり或は斷層のやうな變目を見るのだもの彼等と來たら眞く

▲一寸先は暗の世 で一つ當ればドシ〳〵採つて俄大盡の榮耀も出來るが、一朝外れたが最後、平素から貯財などしない彼等のことて窮迫も悲慘も、其狀は到底内地人には想像のつかぬ程で、若し他に適當な代坑を充つて呉れなければ已むを得ず外の鑛山に往く、外の山といつてもオイソレと空がありさうにもないが其處は蛇の道で彼等社會にはチヤーンと連絡がついてゐて、何處の山は近頃景氣が斯う、彼處の山は合金率が何う或は德太と坑主との歩合其他彼等に直接關係のあることはチヤント相當に調べが付いてゐる、若し又た此處で當が外れたら、次から次と

▲牧草を追ふ如う に移るよりもモツト容易に彼等の轉居は行はれる、彼等の移動が如何に激しいかを知るには玆に好い一例がある無論鑛山に於ける彼等の住居は極めて簡單なもので、學生が下宿を代へると云ふのは、將來朝鮮第一の金産地と評判さるゝ成川地方の出來事だ、同地は現に採鑛してゐるのばかりでも七八箇所あるが、例の稍倉金鑛が盛んな時には我も〳〵と蟻が甘きに就くが如、夜となく晝となく集つて來た、一時は德太及び其部下と關係者を合算すれば幾千といふ多人數で、爲に同地方は急激も〳〵賑く

▲家の數が千二百 と註せらるゝ勢であつた、處が愈々久原の手に收めて德太掘を廢し直營にした時彼等は疾風の過ぎるやう颯つと引揚げて今では鑛山關係者全部で六百人しか居らぬ、建てた家など無論殆んど部分は鑛山の背で何處にか運ばれた更らに奇怪なのは、岐倉の三德金鑛で萬分釐の合金率、俵一つで廿數圓てふ評判がパツと擴がると、エツサ〳〵で乘込んで來たのが大部分は附近の金山で稼いでゐた連中、坑主と約束が出來るとスグ其儘腰を据ゑて採金にかゝる、お蔭で今迄盛んにやつて居た附近の各鑛山は肝心の坑夫が弊壞さ見捨てたので大弱りださうな、彼等が坑主に納めた殘りは其中の一人が附いて鎭南浦に運ぶ。茲で金に替へてからの面白い徑路もあるが其内稿を改めて書く(平壤)

▲鯨の尾羽毛 夏向き極上の尾羽毛の酢味噌でございます、先づ鯨の尾羽毛は白りしていゝのは綺麗に洗ひ淨た注ぎ能く〔ハセ〕りまして水氣を去り別に水に浸けて二、三時間も置くと海老の樣になつて來ますから皿に上げ水を切り刺身の樣に尾羽毛と調合し小皿に酢味噌(酢味噌は只今なれば木の芽を摺り交へたれば最宜し)を入れ之をつけて食します(京城一割烹店長)

給仕を募集す

十七歲以下の男子にして高等小學校卒業程度の者を採用す志望者は履歷書携帶本人來談せられ度し

京城日報社 編輯局

縮緬兵兒帶 勿驚極上物一筋二圓
破天荒の見切賣で評判を取つた東京市日本橋區本石町一丁目縮緬問屋谷商店が流行の魁優美高尚の水色や珍紋の縮緬兵兒帶の處分投を始めたが商務省の補助を受ける工業試驗所で仕上げた品だけに申分なき上等品也而も大巾一丈物先に七圓內外で賣れの品タッタ三圓八十錢に大巾八尺物先に四圓內外賣れの品タッタ二圓と云ふ丸で嘘の樣な近來の馬鹿値こそ買ぬ者は損也けり且つ同店地方部設置滿五週年の祝意記念として兵兒帶一筋の注文每に自然十八金色を呈し居る最新發明に係る不思議の金指輪一個宛の無代進呈をなすと云ふ

期米 致富之栞進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我商店

種蜂豫約分讓 實用一代雜種長權五枚群五圓 オランダ種及ブリチッシゴールデン種 豫約代價表申込次第進呈 開城郡北本町五二〇 王甫宗

致富之栞!!進呈 營業所(堂島濱通一丁目) 大阪堂島米穀取引所仲買人 今廷商店 電話 北四六八番 北四六九番 北四七〇番

桑種子すぐ注文せられよ 信濃桑種子特價壹升三圓乃至七十錢 普通種子は一圓乃至廿五錢 注意 前金は送費不要代金引換は御斷り 振替大阪一九三二番 攝津國川邊郡山本村 種苗圃 坂上產樹園

懷中清心丹 要藥
暑氣、胸痛、腹痛、下痢、時候アタリの應急藥 飮食後常用せば胃腸を壯にし消化を助け食物中毒コレラ赤痢チブスの豫防となる
口中を清涼にし痰咳を鎭め咽喉を潤ほし氣分を爽快ならしむ
東京日本橋元大坂町 高木與兵衛

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は 神恤湯
本劑はせんきリウマチス神經痛と子宮血の道ヒステリー及慢性胃腸に能く効を奏す
彼是迷ふ無し 最も能く効く良藥神恤湯を試よ現に百方手を盡すも効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリー、子宮病を始め年來の難治の方々も神恤湯の服用で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し感謝狀を寄せらるゝ…
こんな徵候 …
本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

消化新藥 柏木ヂアスターゼ
帝國大學病院 日本赤十字社病院 大阪醫科大學病院 陸海軍各病院 各府縣立病院 官公私立病院 御採用品
消化力卓絶で市上何れの品よりも強力一定なり故に消化障害を基因する胃腸病には吾柏木ヂアスターゼを應用せらるゝは論なし
各地の藥店に販賣す
誠實なる製品、之れ安全第一

診察時間 自午前九時 至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

內科 小兒科 院長上京中の處歸院す 京城櫻井町(電一一七一番) 池上醫院

致富之栞 商報 進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 片山政藏商店 堂島濱通 電話長北 六四三 一一〇〇 一一〇一 一一〇二 多少に拘らず御用命の程奉願上候

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

牛乳二還 國華石鹸 關西特約店 みやこ紅 白粉 都ノ雪 本舖 紅清舖 京都 紅清號 注意有
八丈島特產 精撰椿香油

勸業貯蓄債券賣買並に月賦販賣廣告 … 中野商店債券部

明君道中記

第百四十五席　田邊南龍口演

安藤對馬守重信も荻仲右衛門を供ふと聞き大倅の眞價を知り、安心をした、扨日數は三日間にて用意を調へる、家來一同は此度若殿様安藤右京進が大切の役を公儀より仰せ付られ家臣一同御供をするに相違ない、然し未だ何んの御沙汰もない、如何した事であらうかと案じて居ると、愈々右京進は發足する事になつた、その時の供方は自身の鎧櫃持物槍鐵砲を持せ家老荻仲右衛門を始め僅に廿二名、總は次立人足でありました、是を見た一同の者は不審に思つて居た、最早宇都宮城内にては事露顯となり籠城の支度をして居るとの事上州厩橋の平岩主計頭、出羽山形の鳥井左京之介も籠城の支度して居る様子其三大名を生捕に參るに廿や卅人の小勢には何うする事も出來まいと思ひまする故〇『近藤如何した事だらう、餘りと申せば人數が少い三百人か、五百人は召連れて行ねばなるまいと思ふがな　近『拙者が思ふに江戸表より大軍を率いて參る時は市中の者が驚き是に依つて府内が騷しくなつては叶かんとの御心底にて十か二十の小勢、是が千住河原に參る時はモウ八百か千の同勢が居らうと思ふがな　〇『成程、左様さ、江戸表を出るに大勢は不都合途中にて大軍となるとはありさうな事、然し安心の爲に一寸伺つてな』是から御前へ小島が出ました　小『若殿様に伺ひまする　右『何んだ　小『此度の御大役にお召連れになる供方が餘りと申せば小人數の様に存じますがこれには何か御思慮でもあつてか又は千住邊にても大勢待受けるやうな仔細で……　右『イヤ人數は是にて宜い　小『ハア、然らば他に深い御計略あつて　右『何に計略とは　小『イヤ此度三大名を生捕と申す事でございますれば如何なる御計略がありますか我々共安心の爲に、承り度　右『ハヽア、計略なぞはない是は荻に聞け　小『左様で厶います』御前を下る　近『何した小島　小『イヤ何も變だ人數は彼限と申す　近『フン　小『計略にてもございますかと尋ねれば　近『ウン、知らんと、荻に聞けと然うか、彼の家老の馬鹿右衛門に　小『彼の耄碌爺が何んで計略どころか、そ　近『然し馬鹿と鋏は何んとか云ふ、それと同一で彼にも何か方寸があるかも知れん　小『左様さな、聞いて見やうか　二人は家老の許に參り　小『荻様かな　荻『コレは〳〵各々お支度が出來たかな　小『支度は仕りましたが、　荻『何事で、少々御尋ねいたしたいが　〇『ウン若殿にお訊ねなされたとフーン成程人數が少數故、成程、千住邊で大勢待受けて御最も、然るをこれ限りの小數、してフン計略、イヤ偉いなその計略をお訊ねした、若殿が何んと仰せられた　小『御家老様御存知故聞けとの仰せで、さればその計略を一つお伺ひ致したい　荻『然うさ、計略と云ふは何う云ふ事であるか此の荻も古稀を過ぎてな、御供さへ叶ふまじと思ひまして殿が御慈悲にて耄碌爺を御供に加へ下されたとは誠に忝けない、拙者は若年からその旅が好での、泊り〳〵の旅宿でホンの假枕　小『罷つては叶けません、拙者は只御計略を……　荻『計略なぞは存じ申さぬ、いやそんな事は何うでも宜い　小『何うでも宜いでは濟みません、三家の大名を生捕るには是では餘りに人數が少くなうござる、計略にてもあらざればわざ〳〵死地に參るも同様でございますが　荻『ハ、ア、能い〳〵死んだとて又生れて參れば能い、拙者もモウ七十じや世の中も厭々いたした　小『御家老は然うでございませうが私共はまだ〳〵未練がございます　荻『マア宜い〳〵その中に何うかならう、計略は若殿が御存知じやらう』と一向に取合はない

暦

五月十六日　九星
舊三月廿六日　戊午
四綠　佛滅

▲四綠● 寶を以て合を叛く事有る日 ▲五黄● 賜り込主義の事有る日 台北方は吉暗劍殺 ▲六白● 日新事手始事は吉 引き相場に乘る勿れ ▲七赤● 不運の日なれども新事始日の方吉 秋の勝れぬ意味する日 ▲八白● 新事手始 新事土工は妨なし ▲九紫● 前イ印午後は吉 大に勝の勢込日轉居入學 ▲一白● 旭日昇天の日男子は十二齡台萬吉 ▲二黒● 官職を得て女子は思はぬ幸福に逢ふ事 ▲三碧● 思はれ離儀の事有る日 新事手始で利有り 新取引は用心の事 心行よき掛稀事は吉 轉居入學命名 出漁等に勝の日

演藝案内

黄金館

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店　電話二六三七・六五二

五月九日より特別大興行
▲大阪安治川の大慘事　實に大悲惨の極み見るからに涙の落る場が有ります
▲滑稽幽靈の出る時（例に依て當館專屬日本一滑稽辯士久世春浪説明）
▲映寫地中海の海岸
▲探偵活劇父の秘密　伊國チネス社作（小田暁風、横田春曉）二十年前にチョーヂサレ人の生活を金庫の賊の爲に殺害せられた夫れ以來殆んど生涯を失つた彼の妻は息子のザックを一方に伴ひ此時の小屋に二子アンニーと共日を送つて居た…最後に如何なる解決を結ぶや問題の中心
▲新派春之潮　全四卷　井上大木下八百子出演　旅の宿屋の不二彦及糸子の二子あり不絶苦しめらるゝ一方中里家の…
▲時代劇偵說坂田金時一代記　天活會社特作大映寫

有樂館

東京小松商會一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約
直營　早川演藝部　電話（階上）四九七番（階下）二〇五番

五月十日より引續き特別大興行
東京小松商會が三年間の歳月と百餘の俳優とより作り上げたる大寫眞
▲忠臣義士實說忠臣藏　全十二卷
百五十段返し（竹本米光出演）
「あら樂し思ひは晴るゝ身は捨る浮世の月にかゝる雲なし」…武士道の權化日本帝國の精華…
○…
●聖劇○ 伊達騷動…
●喜劇…
「ルボーフ嬢」喜劇ダンス鏡の際
毎週面白い番組を選んで御覽に入れます

如沸大好評　連日滿員御禮

大阪毎日新聞連載小說
新派悲劇 壽草　六卷
尾上松之助決死的大撮影
舊劇 忍術五郎　五卷
米國ヲーストン會社近作
滑稽活劇 デブ君と猛犬
米國ユニヴァサル會社特作品
特別大興行 第十一 快漢ロロー
寫眞室前の長尺に付ヵ時半より映寫

大正館

櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
五月十一日より引續き特別大興行
破天荒の此の四大寫眞を一見あれ
○實寫フヰッシ…
△米國ユニヴァサル會社特作世界的連續大寫眞
○軍事活劇第十一快漢ロロー四十卷の内第十八編…
○舊劇島津三十…

御成座

黄金町　電話二九一
▲錦天卷子　中村正男刑事の苦心
▲柳生漫遊記
▲豊臣出世鏡（浪花節）

壽座

京城壽町　電話五七八番
大阪歌舞伎中村梅升一行
前　嵐　花　五　郎
中　阿　古
切　吃　又　平
一等六十錢　二等四十錢　三等三十錢　四等十五錢

▲書籍案内▼

德富蘆花著　小說　不如歸　價四五　税〇六
同　縮刷　思出の記　價六五　税〇六
京城日報代理部（振替京城三〇〇）

江戸の氣は今日はなりけり海苔の味

乾海苔　上　中　並
味附海苔
燒海苔
海苔佃煮

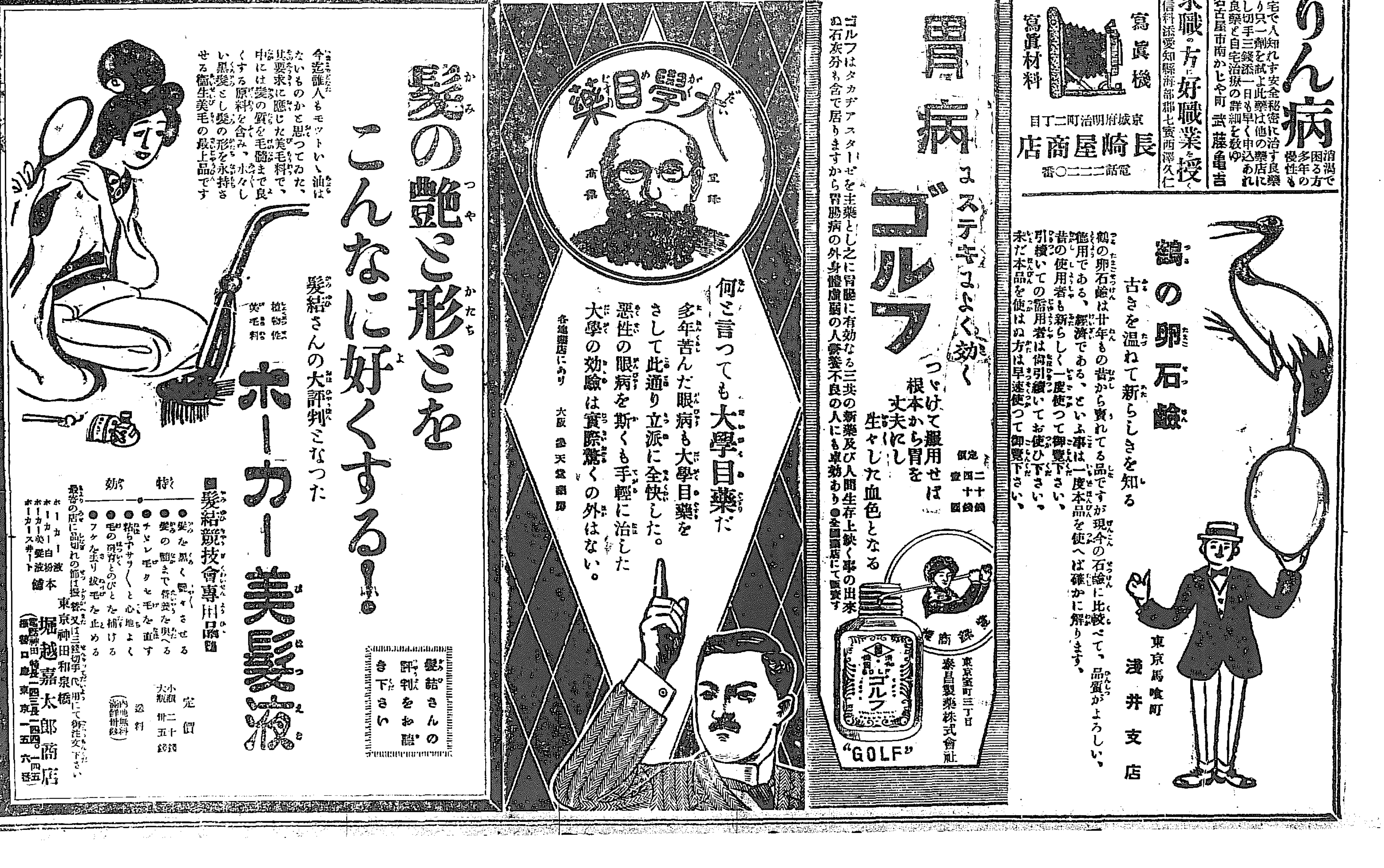
東京日本橋通り一丁目
海苔鰹節商 柳屋

▲美味なる▼
虫下し最良藥
定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメンシ藥
美味なる虫下し最良藥
さんとにねくわー
登録商標 巴瑚篤尼湟菓子
本舗 大阪天王寺鳥居前角 岩崎大海堂
▲內外藥店にあり

主治効能
蛔虫諸症。疳の蟲。蟲熱。夜なきの蟲。乳あまし。蟲腹いたみ。疳熱の蟲。蟲胸あしく。勞熱の蟲。蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なるにせもの續出す。鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで御入で體裁よく常用と物進に妙です

特製品
ルーデサック
A十個四十錢 B十個六十錢
廿五錢女用一個八十錢廿個以上一割引
郵券代用一割増要送料
▲月經帶一個七十五錢
振替京城三二七番
京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房



りん病
消渴で困る方多年の慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢添へ一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を教ゆ
名古屋市南かしや町　武藤亀吉

求職の方に好職業を授く
返信料添愛知縣海部郡七寶西澤久仁

寫眞機
寫眞材料
京城府明治町二丁目
長崎屋商店
電話二二二〇番

胃病にステキによく効く
ゴルフ
ゴルフはタカヂアスターゼを主藥とし之に胃腸に有効なる三共の新藥及び人間生存上缺く事の出來ぬ石灰分も含で居りますから胃腸病の外身體虛弱の人營養不良の人にも卓効あり●全國藥店にて販賣す
つゞけて服用せば根本から胃を丈夫にし生々した血色となる
定價　二十錢　四十錢　壹圓
東京室町三丁目　泰昌製藥株式會社

大學目藥
何と言っても大學目藥だ
多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した。
惡性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない。
各地藥店にあり　大阪　參天堂藥房

髮の艶と形とをこんなに好くする！
今迄誰人もモットいゝ油はないものかと思つてゐた、其要求に應じた美毛料で、中には髮の質を毛髓まで良くする原料を含み、水なしい黑髮とし髮の形を永持させる衞生美毛の最上品です
植物性美毛料
髮結さんの大評判となつた
ホーカー美髮液
■髮結競技會專用品
特効
●髮を黑く艶々させる
●髮の髓まで營養を與へる
●チヾレ毛クセ毛を直す
●粘らずサラ〳〵と心地よく
●毛の發育とのびとを補ける
●フケを去り拔毛を止める
最寄の店に品切れの節は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい
定價　小瓶廿五錢　大瓶二十錢
送料　内地無料
髮結さんの評判をお聽き下さい
ホーカー液本舗　ホーカー白粉本舗　ホーカー染髮液　ホーカースポート
東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
電話神田長一四三四・一四五〇　振替口座東京一一五六番

鶴の卵石鹼
古きを温ねて新らしきを知る
鶴の卵石鹼は廿年もの昔から賣れてる品ですが現今の石鹼に比較べて、品質がよろしい。
經濟である、といふ事は一度本品を使へば確かに解ります。
昔の使用者も新らしく一度使つて御覽下さい。
引續いての愛用者は尚引續いてお使ひ下さい。
未だ本品を使はぬ方は早速使つて御覽下さい。
東京馬喰町　淺井支店

京城日報
第三版
五月十五日 (夕刊と合せて八頁)

下關正米相場電 十四日四時著(立直り相先買越し)

宇治川水電 京阪電鐵 東洋紡績 合同紡績 鐘淵紡績 二二九、三〇

大阪株式 ▲十四日後場 大阪後場十七圓六十七錢 [illegible] 八圓三十七錢 大阪前止十八圓十五錢後寄同時の大引にて當限十三圓八十錢より五錢と跳ね三錢と押し九錢と上伸し八十三錢と押して引中十四圓〇五錢より同寄引先十四圓五十八錢と五

▲東京期米相場 [illegible] なるも買氣旺盛にて十四圓五十六錢と寄付たるが [illegible] く直に六十四錢迄上伸したるも [illegible] より目立ちたる賣物現はれたると [illegible] より利喰に新規に賣物多く五十七錢と押したるが [illegible]

[illegible] 萬六千餘石 [illegible] 賣三千餘石 [illegible] 萬千餘石 [illegible] 賣七千餘石 [illegible] 賣八千餘石 [illegible] 賣三千餘石 [illegible] 賣六千餘石 [illegible]

[illegible] 得る能はずとなし居る者の如き振り合ひである然るに一面賣事も局せず [illegible] 高値なるより賣惡なる者が近年の目の賣玉不知不識の裡に溜り居る場合入れ [illegible] きたる際は意外の反動なしとも保し難し

十四日の七月限 後場寄 十四圓五十九錢 後場引 十四圓六十錢 高値 十四圓六十五錢 安値 十四圓五十八錢

紐育より

切田 太郎

阿部社長足下

二月十日桑港に上陸致候てより既に二箇月に相成り稍其間『ロサンゼルス』『ソートレイキ』『シカゴ』『ワシントン』『フイラデルフエア』等宛然走馬燈の如く驅廻はり更に寧日なく昨今漸く紐育山の手六階の一隅に落付き申候流石に世界一の大都市大紐育と米人の誇るだけありて事々物々人目を驚かさざるも御座なく大西洋航海杜絶以來其困難言語に絶し人類の一大茶溜の如き觀を呈し居候紐育人には死ぬ暇もなしと冷やかせし文人ありしと聞きしが來て見て成程と面白く感じ申候、しかも此大茶溜中の中心『ヴオール、ストリート』の大道にて彼處には戰爭談吹の演説をなすものありと思へば此處には平和論者の集會ありて一歩も進むこと能はざる有樣然るに警察官の更に之を制する模樣もなくサスガは世界の自由郷の名に耻ぢず候、昨今は時節柄到る處米獨戰爭談にて持切に候御承知の如く獨種米人多き場所柄とてウツカリ獨逸の惡口も出來ず此間も米國勝つ獨逸勝つとの座談より獨逸人の下女が米人の主家より憤然暇を取りしとの滑稽も有之候米人は概して兵力の弱きは自覺致居り候も金力を以て最後の勝利なりと確信致されば こそ七十億弗の國債を起すことゝ力昧居候過日當地財界の老將米國の澁澤男とも申すべき Vanderlip氏に面會し右國債の米國市場に及ぼす影響如何と質問致候處些の影響なしと威張り居候實際株式市場の如きも日本の如き動搖は更になく頗る平靜なるには驚嘆の外御座なく候

排日思想の充滿せる加州より紐育に參り見れば別天地の有樣に候日本人は到る處尊敬せられ厚遇を受け銀行や會社などを招待け訪問致候も總て秘密なく何から何まで見せくれ説明しくれ恐縮する程に候大銀行などにても頭取が一番來客に接し易き入口の衆人より見ゆる直に入り得る場所を占領し我國にて重役に面會せんには先づ受付に名刺を出し之を帳簿に記入し應接間に導れサン／＼待たさるゝ風習と比較せば雲泥の差に候ブカ／＼重役室に入り外套も脱がずに立話の上グッドバイとてサッサと立歸る有樣に候さりとて何程長く居りしとて更にイヤな顔もせず親切に話しくれ叮嚀になれば辨當さへ出しくるゝ銀行も有之候此邊は我の大に學ぶべき所に非ずやと存じ候然し凡て米國は極端より極端に走り居るものゝ如くに候萬事矛盾の國にて一方を見て他方を究めざれば其眞相を知り難き事と存候されば米國贔屓の人のうちには馬鹿に米國を賞むるものと反對に大にケナスものと有之候やうな譯にて同國を研究するの大に心して可なりとも申すべきか

小生渡米の際朝鮮と内地より商品の見本を持參し當地商人に示し申候處品質の劣等と價の廉なるには驚き居候彼曰く米國にては一にQuality二にService 三にPrice 也商價にして品質の優秀なるものなれば大概何でも御相談せん日本人は稍巧のものが出來るクセに何故劣等品を送るやと先日も當地醫療機械組合にては日本より劣等品を送れりとて將來取引せずと決議せしとか實に惜しむべきことに候尤も是れ今日に於ては全然日本商人のみを責むべきにあらず彼等の米國の事情に精通せざると在日本の米國商人の罪も大に有之候此事は他日再び可申述候（四月十日）

遊支所感

(十) 支那人の商賣振

漢城銀行專務 韓相龍氏談

△個人の成功　支那は要するに國家的若くは社會的方面に於ては殆ど何等の成功を認むる能はざるも個人としては悉く成功せりと謂ふを得可し、就中商業の如きは最も巧妙なる方途に依りて之を經營す、其の第一は商品の利用なり、如何なる富商大賈と雖も巨額の商品を店頭に羅列することなく、出來得る限り之を倉庫に藏して低利の金融を計るに努むるを常とす、從つて之等の商品に對する各銀行の貸付は極めて短期にして早きは兩三日長きも二週間を越えず。其の第二は薄利多賣なり、外國人等は商品に對しては或る程度まで之れが利潤を見るにあらざれば放賣することなきも、支那人は極めて薄利を以てして多量の賣却を圖るを好む形勢あり

△信用の確實　第三は信用の確實なり、彼等は自己の信用を以て唯一の生命及び財産なりとし、假令如何なる困難の事情ありとも他借の金錢は必ず償還に之を返濟す、支那人は德義上に於ては感ずべき點多からざれど商賈間の信用に至りては最も確實にして假りに一人の破産者を出せりとするも各自共同之が救濟の途を講じ、其の債權者たる外國銀行等に對して損耗を蒙らしむるが如きことなし、之れ畢竟個人の成功を見る因由なり。都市の商衢を歩む者は店頭の往來織るが如く各戸甚だ殷賑を呈し居れるを見る可し、予北京に於て某漢法醫藥商を參觀せしに此處は賣上高五十萬兩を下らずといへり。支那は廣大なる國土を領し多數の國民を有して世界市場たるの地位を占め居れるが故に物資も從つて夥しく商家亦た繁昌を極む、況や商賈の經營振り斯の如く敏活なるを以て個人の商業に在りては到底外人若くは日本人の及ぶ所にあらず但し大貿易船舶、工業等の如きに至りては悉く外國人の手に依りて取扱はれつゝあるは言を俟たず

△在支日本人　日本商賈の個人的經營狀態を見るに恰も支那人向きにあらずして日本人間のみに止まるの感あり、斯の如き商賣振りは何等かの方法を以て改善するの必要なきか、日本人の生活程度は支那人に比すれば頗る高級なるが故に個人間の競爭は甚だ鮮寡なり、人力車夫の如き日本人は青島方面に於て漸く二三名を見るの外、國内全く其の影を認むる能はず、之に由りて推すも勞働の點に於ては支那人との競爭は絶對に不可能なるが如し

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 三ヶ月分前金に限り [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直之介
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

放浪漫記

大谷光瑞

(承前)惠州城東門下に一江の來り合するあり、船を以て橋とし、鐵鎖を繫ぐ、蓋し昔の遺風なり、是れ蘇公の云ふ東新橋なり。公の詩に曰く

惠州之東江溪合流、有橋多廢壞、以小舟渡、羅浮道士鄧守安、始作浮橋、以四十舟爲二十舫、鐵鎖石碇、隨水漲落、榜曰東新橋、州西豐湖上有長橋、屢作屢壞、棲禪院僧希固、築進兩岸、爲飛樓九間、盡用石鹽木、堅若鐵石、榜曰西新橋、皆紹聖三年六月、畢工、作二詩落之、

東新橋

群鯨貫鐵索、背負橫空霓、首搖雪江、尾插崩雲溪、機牙任信縮、漲落隨高低、轆轤卷巨綆、青蛟挂長隄、奔舟免狂觸、脱筏防撞擠、一橋何足云、歡傳滿東西、父老有不識、喜笑爭攀躋、魚龍亦驚逃、雷徑生瑞霓、嗟此病涉久、公私困留稽、姦民食此險、出沒如浮鷖、似賣失船贅、如去發輾梯、不知百年來、幾人隕沙泥、豈知濤瀾上、安若堂與閨、往來無晨夜、醉病休扶携、使君傾我言、始割無牛雞、不云二子勞、歡我捐腰犀、(自註二子造橋余嘗助施犀帶)我亦捨使君、一言聽扶黎、當當修未墜、勿使後噬臍、

公の殁後より今日に至るまで、時に隆替あるも、猶舟橋依然存せり。今は汽艇繫ぐ橋に接して之を繫ぐ。旅客は橋上より乘降す。五日午後小舟に乘じ流を下り、博羅に至る、雨甚だし。晩來縣に至り、羅浮に至るの途を問ふ。知縣曰く途なきに非ざれども、石龍より至るの遠なるに若かず。晩來雨急に、蓬窓漏あり、甚だ困難す。翌日石龍に向ふ、途上汽艇の來るあり、之に轉乘し、正午到着す。直に途を問ふ、山下に至る三十五支那里なり。然れども盜賊の一行の數に滿たず、之に遂を絶ち廣東に向ふ。東江一帶は盜賊最も多く、危險云ふべからず、小汽船に對しては、警備軍より數名の兵勇を派し、銃器を帶び護衞せり。縱浮は實に盜賊の藪にして、轎夫亦恐く行くを欲せざるが如し。晩來汽車にて廣東に著す。廣東滯在中波羅の南海神廟と、城北の白雲山に遊ぶ。總領事幸に公務の餘暇を以て同行を給ひしは、實に感謝の至りに堪へず。南海神廟は東江の右岸にして、廣東を去る二十哩なれども、汽車の便甚だ惡く、兩停車場の中間に當り、而も線路を去ること遠くして、六七支那里を距つ。故に阪崎三井支店長の好意に浴し、小汽艇を借り水路を取れり。水は廟門の前に近しと雖も、淺くして汽艇は距三丁の傍に投錨せり。廟は數日前祭事を了りしが、飾具など猶存し、前日雜踏の痕を留め、廟中唐碑あり、韓文公の撰文、陳諫の書なり。工人を廣東より伴ひ來り之を搨拓せしむ、字は佳ならず、陝西に於ける唐碑の如きに比すべからずと雖も、嶺南に於ては、有數の古碑なりとす。傍に宋碑あり、唐碑に比すれば更に大なり、廟は南海神祝融氏を祀れるが如し、特に夏秋の暴風に關しては、靈驗を有せるが如く信せり。然れば現時香港氣象臺長の職を行ふに至りては、南海神も多少其責任に一半を輕減せるを欣喜せしならんと信す。

(三月二十一日新支坂に於て)

漢湖零話

露國宮廷の秘密

山縣生

露國の革命に先だつ少し前に暗殺された怪僧ラスプチンが、宮廷に非常なる勢力を有して居たのは、主として皇后が彼に對して畏怖を抱いて居られたに因り、其畏怖は皇太子の健康は彼の在ると否とに關はるとの迷信に基いたものであるといふ。露國の一新聞の報ずる所に據れば、彼は皇后に此迷信を抱かしむると共に其迷信を強むる爲め、皇后附の宮女と侍醫とを手馴けて置くべき手段を執つて居た、即ち彼が宮中より離れて居る時には、其宮女と侍醫とをして密に皇太子の食膳に毒を交へしめた。皇太子は生れついて虚弱なるが上に、毒を進めらるゝこと故直に病氣にかゝるやうになり、やがてラスプチンが宮中に喚び還さると、此手品が止めらるゝから、次第に健康を回復した、此手段により皇后は皇太子の健康は一に此怪僧の掌中に在るとの迷信に捉はれ、彼の自由になつて居たのであるといふ。ラスプチンは平常自分が死ねば四十日以内に皇太子は病に犯さるべしと公言して居たが、此豫言は確實に命中した。即ち彼の道具となつて利益を占めて居た宮女が彼の繼嗣者を作る爲めに彼の死後四十日目に又毒を皇太子に進めたのであつた。氣の毒なるは皇太子で、高き地位に生れられたのは幸か不幸か、富も權勢も無い平民の家の兒であつたならば、このやうな酷い目に遭はれなかつたであらう。

南洋見物

淺岡重吉(談)

(14) 水上の家屋と異つた人種

今日は郊外見物をして見ようと、馬車を海岸の郊外に驅る、市街は多く支那人の部落であるが、此邊りは之に反し馬來の土人が多く、家は日本の田舍家に似て、長方形の掘立小屋は、屋根の勾配が急にしてニッパと稱する一種の椰子の葉で葺き、遠方から見れば日本の農家に異らない、中には海水の上に建てたるものも多くあり、柱には椰子の幹を用ひ、壁には [illegible]

(15) 護謨園と護謨の製法

汽車は郊外を西北に巡る到る所の森林は伐り倒して惜氣もなく悉く燒いて、其跡が開墾されて [illegible] 日本人の大護謨園と云へば [illegible] 護謨園である [illegible]

日報詩壇

[illegible]

自動車學校
本校は東洋唯一の認可運轉手及修繕製作技師養成の三科共年齡不問採用半年卒業規則送與す自動車界は内外共益々多事成功の近途也
▼東京市京橋區南紺屋町

顧問 文學博士 森林太郎先生 文學博士 喜田貞吉先生
■藤澤衛彦編 ■會員募集
■全廿四冊完結毎月一回配本四六版四百餘頁 ■會費毎月金壹圓卅錢
日本傳說叢書 北武藏の巻
期待せられたる『北武藏の巻』出づ 櫻の花の美裝に抱かれて充實せる内容は輝かれ納むる處の傳說百四十三項先づ懷しき深き武藏野の傳說に始めらる堀金の井、逃水、オサキ狐、高篠の長者、飯田川、狹服山、笛吹峠の傳說等猶武藏野の平原が生んだ多くの英雄傳說等蘊く讀者の興味と注意を喚る史料也
申込所 東京神田錦町三 平和出版社内 日本傳說叢書刊行會 電話本局 [illegible] 振替東京 [illegible]

時計卸商
登錄商標 K
京城黄金町二丁目 喜多金光堂
電話一〇一五・振替京城七八二

主筆 忽滑谷快天師
達磨禪
毎月一回一日發行●一冊拾六錢●一年分壹圓五拾錢
■道人の活計……社説
▼和魂……顧問 大内青巒
▼文字不立文字へ……文學士 富谷順溪
▼教者の悟道觀……保坂玉泉
▼處世禪……師家 北野玄峰
▼月波禪師の著述に就て……水城學人
禪の妙味を味はんには本誌を讀むが最も近道也
■信心銘、六祖壇經解題……會長 山田孝道
▼人生の二大事實……曹洞大學教授 山上天川
■無縫塔の一撈……渡邊約山
▼無念無想の俗說俗話……文學士 木村隆法
▼世界の大聖人……文學博士 村上專精
▼五家系統論……主筆 忽滑谷快天
東京北豐島郡 [illegible] 佛心會本部 振替口座東京 [illegible]

陸地測量部 朝鮮地圖 發行五萬分一
臨時土地調査局測量の分二色刷既刊四百六十枚一枚七錢五厘一枚十錢送料五枚迄二錢一切前金のこと照會必返信料を要す
小林又七朝鮮出張店 龍山漢江通六番地 電話五二〇 振替五一〇

資本金壹百萬圓
京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熈
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、烏致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

文學博士 姉崎正治先生著 解說要本 法華經の行者日蓮 正價八拾錢
三六判總布洋本 日蓮上人眞蹟五葉挿入
先頃刊行の『法華經の行者日蓮』の[廣本]は批評研究的、今度の[要本]は解說的に要を摘んで、佛教の術語を一々近代語に直し、又脚註で解說したもの。而かも容易に通讀し得る樣、[廣本]以外の材料を加へて、[廣本]の四分一で『法華經の行者』の經歷、思想、信仰、努力、血と涙との跡を傳へたのが、この一篇。
姉崎文學博士著 法華經の行者日蓮 第八版 正價貳圓參拾錢
東京本町 博文館

蠶繭、生糸 出殼、屑物
見本御送付次第値入申上候 多數有之節は店員出張仕候
龍山漢江通り 繭糸商行 電話長一五七番 電略(〇コシ)或(〇)

專賣特許 蒸溜器製造販賣 說明書定價表送呈
東京市淺草區松清町八門跡前ならび 岩崎棟太郎商店

夏物紺セル洋服賣出
上等 三圓八十錢
二等 二圓八十錢
三等 一圓五十錢
其他軍隊拂下品各種和洋古着類荷揃例年通り特別廉價販賣
鐵道拂下品
和洋服商 金子與市商店 龍山元町二丁目 電話百〇五番 振替京城三八一二番

まつちや
土地あり保證安全
勸業貯蓄債券高價買入
明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 南質店
特別丁寧に預る

店員募集
但し商業に經驗有中等以上の教育有者市内に確實なる保證人二名を要す年齢二十五歳以上志望の人は午前九時迄に自筆履歴書携帶本人來談あれ
京城長谷川町七十四番地 和洋諸紙印刷材料 近澤商店

法人登記公告
抱川地方金融組合長金顯廸ハ任期滿了セリ、監事崔鶴楨、任憲宰、尹炳鉉ハ任期滿了ノ處大正六年四月貳拾八日定時總會ニ於テ改選ノ結果各監事ニ再選重任シタリ
右大正六年五月拾貳日登記
京城地方法院 抱川出張所

法人登記公告
漣川地方金融組合登記事項中變更
監事安海琨、閔泳龍、張在植任期滿了ノ處大正六年四月廿九日改選ノ結果監事安海琨ハ重任シ更ニ左記者當選就任シタリ
黄海道平山郡外邑面丹邱里七統參戶 金章澳
黄海道平山郡積岩面杏亭里六統參戶 申楨
右大正六年五月拾貳日登記
海州地方法院 瑞興支廳

法人變更登記公告
[illegible]地方金融組合登記事項中目的ノ中ニ左ノ一項ヲ追加ス
組合ハ加入ノ豫約ヲ爲シタル者ノ爲ニ出資壹口ノ金額ニ達スル迄組合員ニ非ルモノヽ預リ金ヲ爲スコト
右大正六年五月拾壹日登記
京城地方法院 春川支廳

支那の形勢

▲クーデター覺束なし

黎總統の北東に於ける武力は段祺瑞氏に優れるが如く北洋諸軍の中心地たる保定は黎總統の手に歸したり倪嗣冲氏が安武軍、張勳氏が定武軍を率ゐて入京するにあらざれば段總理のクーデター斷行は覺束なからんと觀測せらる（北京特電）

▲各黨首領成行傍觀

十二日各督軍は集會を開きたるが各黨首領も亦た集會の上段總理をして暴動巨魁を處罰するの機會を與ふる爲め暫く成行を傍觀するに決したり（北京特電）

▲倪嗣冲段總理訪問

倪嗣冲氏は十二日天津に赴き梁啓超徐世昌等と面談し十三日午前入京直に段總理を訪問せり（北京特電）

○ル氏遠征請願提出

ルーズベルト氏の佛國遠征請願は曩に却下されたるが下院に對し更らに同氏の佛國遠征案再び提出されたり（桑港電報）

○義勇師團出動許可決議

米元老院修正案復活

代議院は大激論の末共陸軍法案協議員に訓令して元老院の修正案を復活しルーズベルト氏の米國義勇師團を統率して佛國に向ふ事を許可せしむる事を決議せり（華盛頓電報）

○ル氏代議院に謝す

オイスターベーラー來電＝ルーズベルト氏は代議院の賢明なる愛國的決議に對し深く感謝の意を表して曰く『既に此の決議ある以上代議院は余の志を賛し選拔派遣隊に編入せられざる各科兵の軍隊を直に戰塲に使用する事を許可するに至るべし』（華盛頓電報）

○米國社會黨の飛檄

米國社會黨首領は連名を以て外國在住の社會黨に檄を飛ばして曰く『戰爭は獨帝の覆滅を見る迄繼續せざる可からず』云々（桑港電報）

○獨逸間諜の離間運動

獨逸よりの間諜等は露國民の間に介在し露國政府に對する不滿及び軍隊の離間煽動等を煽動しつゝあり陸相グチコフ氏は軍隊に對し之等獨逸間諜の跋扈に對し嚴重なる警告を發せり（露都電報）

○外相首相凝議

本野外相は十四日午前九時寺內首相を官邸に訪ひ駐支林公使より到達せる支那時局に關する情報を齎し數刻に亙りて凝議せり（東京特電）

○山縣元帥歸京

山縣公は十四日小田原より歸京せり（東京特電）

○ス博士淸州視察

スクール博士は十四日午後六時鳥致院著直に自動車にて淸州に向へたるが同地一泊の上報恩俗離山を視察し十六日午後六時出發京城に向ふ筈（鳥致院特電）

◉米人商業團組織

米國は協商國側加入の結果露國に對し財政經濟方面に於て極力援助を與ふべく東淸車輛の供給並に鐵道人員の貸與等に努め居るも更に此機に乘じて其貿易の增進を圖る可く前駐哈米國領事館員某々等は新に哈爾賓に米國商業團なるものを組織し哈爾賓は米國品輸送の必過地點たるを以て該地に其本部を置き米露間の商務を締結して運輸上の困難を排除し露國に要の貨物の全部を哈爾賓に輸送し更に之れを露國に送ることゝする筈にて目下同團幹部は東淸鐵道及び運輸委員と之れに要する貨車の配給に就き商議を進め居れるが露新政府も極めて此計畫に賛同し居れば東淸鐵道は特に同團の爲め毎日貨車數輛を配給するに至る可しと云ふ（哈爾賓）

大正六年度地方費豫算（承前）

＝歲出入豫算總額四百五十八萬二千餘圓＝
＝前年度に比し百五十六萬餘圓の增加也＝
＝歲出入主要科目＝本年度新規事業梗概＝

歲出之部

歲出總額は四百五十八萬二千餘圓にして之を前年度豫算に比し百五十六萬圓を增加せるは主として恩賜金事業費を編入せしに因るものとす而して各費目に於ける增減は左の如し

▲土木費　總額九十四萬三千餘圓にして前年度に比すれば四萬七千圓を減少せしは既改修道路里程の增加と共に修繕費は三萬圓を增加せるも改修工事費に於て七萬圓の減少を見るに因る

▲衞生費　總額十四萬五千圓にして前年度に比し二萬圓を增加せしは前年度に於ける海州水道敷設費を減ずるも本年度は新に光州水道敷設費を計上するに因る

▲救恤及慈善費　總額十萬一千圓にして前年度に比し八萬八千圓を增加せしは臨時恩賜金事業たる窮民救濟費を新に本費に計上したるに因る

▲勸業費　總額九十一萬二千圓にして前年度豫算に比して十二萬八千圓の增加を示すは屠場稅及び屠畜稅增徵收入及び事業收入の增加等に依り畜産計畫其の他施設の擴張を爲したるに因るものとす今本年度擴張せる施設の主なるものを擧ぐれば普通農事に在りては改良米種の普及又は更新に關する爲原種田及び採種田を擴張し輸移出米及び大豆の檢查を一層有効ならしむるが爲檢查所を新設增設し又は委託檢查を直營に改め畜産に在りては畜牛の改良を圖る爲保護牛計畫其の他畜産施設を擴張し養蠶に在りては斯業の普及に伴ひ原蠶種製造を擴張し蠶業技術員を增員し林業に在りては一層造林の氣運を促進すべく技術員を增員し苗圃の增設又は擴張を計畫する外民間養苗奬勵の方法を講じ水産に在りては漁船漁具及び漁撈改良に關する施設の外漁獲物の處理及び水産製造に關する奬勵を擴張せし等なり

▲授産費　恩賜金收支編入の結果新に設けたる科目なり其の總額九十二萬三千餘圓にして之を前年度恩賜金授産費に比較するときは十六萬六千餘圓を增加せり是れ從來は恩賜金利子受入期の關係上運轉資金の準備を要し年々多額の繰越金を設け來りしも豫算合一の結果之を要せざるに至りしを以て之を利用し特に授産事業施設擴張を爲したるに因れり授産事業は成るべく既定計畫を踏襲し既往の實績を施設の要結とする方針を取れり

本年度新規事業は來に依り將又世運の推移に伴ひ多少の改正を要するものあり殊に本年度の豫算を地方費に合一せられたるを以て之を機とし從來地方費事業との間交又混淆の嫌ありし施設の整理統一を圖りたる爲稍々著しき改廢變更を見たり今其の主なるものを擧ぐれば從來窮民救濟は主として恩賜事業たりし關係に依り其の施設を擧げて授産事業に統一し其の他技術員及び種苗配付等にして從來地方費恩賜金の兩費に跨れるものも亦之を何れか一方に統一せしもの少からず此の外傳習事業にして既往數年の實施に依り既に修了者の相當普及せしものは之を廢止又は縮少し又從來傳習所は最も易にして卑近なる事項を授けたるも地方に依り其の須要に應じ若干課程を高め或は期間を延長し機業製紙等の傳習に於ける修了者就業奬勵に關する工賃支給制度を擴張し又從來種苗農具漁具等の配付は多くは無償を以てせしも多少之を有償となすも希望者を減せざるに至りたる爲有償配付若は購入補助に改めたる等なり

▲教育費　總額百四十萬五千餘圓にして前年度に比し二十六萬五千圓を增加せり是れ主として臨時恩賜金に依る公立普通學校補助費を本費に計上したる結果なりとす

▲雜支出　總額八萬八千餘圓にして前年度に比し大差なく而して內容の主なるものは地方費取扱費の七萬五千餘圓、徵兵旅費繰替金の二千餘圓なりとす

▲豫備費　總額十八萬一千餘圓にして前年度に比し十萬六千餘圓を增加せり一般地方費に依る豫備費の若干を減少せしも恩賜金收入に依る豫備費を加へたる爲結局前記の增加を示すものとす

▲道別豫算　尙ほ地方費歲出入豫算額を各道別とし前年度との增減狀況を見るに左の如し

豫算額（圓）

道名	豫算額	前年度に比し增減
京畿道	五五九、一六五	二五四、九三七
忠淸北道	一九八、二四七	一六六、九〇七
忠淸南道	三三三、四五六	一一〇、六七九
全羅北道	三一一、九二二	九九、四九四
全羅南道	四二一、八九八	一九四、五六七
慶尙北道	四八八、〇四四	一六三、二四八
慶尙南道	四九九、〇三二	一二一、九一八
黃海道	二九七、六三六	六〇、四〇七
平安南道	二六二、八五二	五〇、七三〇
平安北道	三三六、三三六	一〇〇、三四七
江原道	二四八、七〇五	九九、〇七七
咸鏡南道	二五六、二六三	九八、一〇三
咸鏡北道	一九一、九九五	四七、三二四
總計	四、五八二、八七七	一、五六〇、六九九

◉京畿徵稅狀況

四月末現在に於ける大正六年度京畿管內に於ける租稅及び驛屯賭徵收狀況を聞くに左の如し

▲地稅　調定濟額五圓に對し全部の收入あり
▲市街地稅　調定濟額十萬四千五百十四圓に對して四萬八千九百二十二圓の收入あり此徵收步合四分六厘八毛なり
▲戶稅　調定濟額三萬六千九百二十一圓に對して三萬五千五百六十七圓の收入あり此收入步合九分六厘六毛なり
▲酒稅　調定濟額二萬六千七百五十五圓に對して一萬七千零五十八圓の收入あり此收入步合六分三厘七毛なり
▲家屋稅　三千一百圓の調定濟額に對して三百七十七圓の收入あり此收入步合一分二厘一毛なり
▲煙草稅　五萬一千三十一圓の調定濟額に對して四萬一千四百六十二圓の收入あり此收入步合七分九厘六毛なり
▲鑛稅　一千百三十五圓の調定濟額に對して二百五圓の收入あり此收入步合一分八厘なり
▲雜稅　調定濟額三百九十三圓に對して五十圓の收入あり此收入步合一分二厘なり
▲所得稅　調定濟額五十一圓に對して四十八圓の收入あり此收入步合九分四厘一毛なり
▲以上租稅計　調定濟額廿二萬四千九百五圓に對して十四萬四千九十二圓の收入あり此收入步合六分四厘なり尙此他驛屯賭收入調定濟額十八圓に對して全部の收入ありたり

◉鮮銀未拂込株主注意

鮮銀新株公募並に割當てに對し未だ拂込みをなさゞる株主少數あり鮮銀にては去る三日より向ふ二週間內乃ち十七日を期限とし拂込みを催告する通知を發せしが右期間に拂込まざれば該相當株數は失權となるに付未拂込み株主は注意を要すべし

◉京城軍人會總會

京城在鄕軍人分會にては來る二十日午後一時より奬忠壇に於て春季定時總會を開催し評議員の半數改選並に分會長副分會長幹事理事の改選を行ひ尙當日は射擊銃槍、マラソン競走等の餘興を催すべしと

□遼陽より　天彩生

五月十二日　本朝七時十分、營口を發し長春に向ふ、昨雨全く收まりて黃塵起らず到る處の碧柳烟を吹く、將に遼陽に近かんとす、白塔の遠く天を摩するを望む。塔は高句麗以後の建築なり。頭を塔下の曾遊に回らして、忽然として同遊の友橋本關雪を憶ふ。

遼陽口占

白塔摩天殘壘橫。依然刑勝古遼城。杏花楊柳年々綠。回首行人一愴情。

◉醫師試驗合格者

豫て總督府醫院內に於て施行中なりし醫師試驗合格者は內地人三名朝鮮人八名合計十一人にして其氏名左の如し

▲李昌鎬、車亨恩、劉七石、李鍾鎬、金基炯、鄭宗成、崔東益、鄭容軾、（以上朝鮮人）▲今井孝一、古賀福太郞、中村猛、（以上內地人）

◉合格證書授與式

十四日午後一時三十分總督府醫院に於て通過したる合格者十一名に對する合格證書の授與式行はれたり

◉大同生命催宴

入京中なる大同生命保險株式會社專務祇園誠次郞氏は京城の得意先及び新聞通信社長等を十三日夜千代本に招待し盛宴を張れり

□北征途上より　撫順炭坑ホテルにて　結城蓀

無佛兄足下、畏者拜眉を得て十年の疎懶を恐縮せり、其後高作を示され載せて遼東に在り一盞を捧げこと、想ひ扱ひ探りて小生吟眺諸子の抑留に遭ひしに漸く解放を經て北征の途に上り申候、過般大作を示すを蒙り一々服讀すべかりしを疎懶を失す茲に途上の數首を錄し以て左右に呈す若し一笑を博するを得ば幸甚々々

首山堡

夜色冥濛驟雨颯。輪飛過野雲騎。依稀古戰塲頭月。何處虜皇駐驆山。

夜間之を過ぎしは遺憾、實作の落日感慨の多きに比して遜色あるを免がれず候

遼陽

薰風吹綠遼峰堆。古戰塲荒長草萊。行到遼陽天始曙。塔尖一角挺雲來。

余は前年梅博士と觀光せし時は大石橋より燕京に向ひし爲其以北は生路なりしに拘らず深夜にて形勝を指掌に收めざりしは多少の恨を餘し申候

烟臺

連天遠嶂碧嵯峨。曠野茫々鐵路過。認得戎裝人鵠立。綠楊靑草古烟臺。

烟臺の車站にも戍兵の哨立せるを見て何故と申せば馬賊に備ふる爲とか申事にて候蘇家屯より撫順に到り坑長米倉博士の說明を聽き且規模の宏大なるを見、我移住民の多きにも驚き申候是は米を喰ふ鼠にあらで石炭を喰ふ徒ならんとの小生の一噱は時によりての愛嬌なりしも其嗣言に郞賦の詩を徵せられ鉛筆にて書き示し申候大山坑東鄕坑に至りては則ち足下の大連詩に註脚を添へたるものと思召被下度候

撫順

其一

行路將軍意氣豪。憩看童綏燦征袍。大山坑對東鄕坑。天半煤烟萬丈高。

其二

赤瓦樓臺隔翠楊。雲梯高々揷穹蒼。何人呼做千金窯。炭塊層々無盡藏。

其三

炭塊千層鬱得成。鞭樅鐵路亙縱橫。前朝遺業空存在。無復人知撫順城。

（明總兵撫人民の假名）

半日の稼ぎ高として如此惡詩のみ若し夫れ泰山に登り曲阜に謁するに及んでは或は觀るに足る可きものあらんと聊か自ら信じ申候何卒刮目御待を祈り申候

◉商銀群山支店

朝鮮商業銀行にては夙に群山に支店を新設すべく計畫中なりしが去る八日總督府より支店設置の認可ありしを以て目下準備員を派し家屋其他の設備に努めつゝあるに付き多分來る二十一日より開店するの運びに至るべし而して支店長は盛田現本町店長任ぜらるゝ由

◉甲斐警視赴任期

警務總監部より大田警察署長に補せられたる警視甲斐武一氏は來る十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて赴任すべしと

◉釜山魚市場時間改正

釜山水產會社經營の釜山魚市塲は毎日午前八時內外の一回なりしを本月十五日より午前七時、午後二時の兩回開塲すべしと（釜山）

◉京城を去る林田君

今回鎭南浦商業會議所西崎氏經營業務の總支配人となり十五日午前九時十分南大門驛發鎭南浦に移轉の筈なる林田虎雄君は京城に在留すること二十餘年前て朝鮮の混沌時代に於ては政界通を以て任ぜられ漢城新報日々文主幹商業會議所理事、鐵道監部通譯官、土地調查局委任囑託等に歷任し殊に朝鮮骨董界の通にして玩味の爲に到する眼識に至りては斯界の驚嘆する所にして其秘藏の朝鮮骨董の如きは珍品最も多く鎭南浦の骨董界も氏に依りて一段の光彩を添ゆるに至るべし

人事消息

▲假野雄七郞氏（東山農場員）同上
▲林永太氏（前代議士）十四日夜入京南山居へ

■南窓北語■

英國がアノ大艦隊を擁しながら最初から世人が期待して居る程の活動をせぬ▲一體全體本家本元のドレッドノートは何をして居るのだらう▲とは誰でも思ふ一個の疑問であるだから英國でも海軍の改革說が屢々傳へらるゝ▲開戰當初はチャーチル君夫れからバルフオア卿▲次にダーダネルス海峽戰と巴爾幹の作戰を非難して檢事總長を辭したエドワード、カーゾン君と三度大臣が更迭して居る▲其の現在の海相のカーゾン君が大に英國海軍の爲に辯解して曰く▲北海百萬地中海三千萬大西洋三千萬太平洋七千萬都合十億三千百萬浬の海上に▲獨逸の艦船が一隻も居ないのは全く英國艦隊の威力を證するものだ▲顏が黑くならねば海軍のことなど解るもので無い▲とは大氣焰だが獨逸潛航艇が頻りに大西洋や地中海で大手を振つての狂暴は何うであらう▲海底は海底で又た別ものかも知れぬ▲歐洲戰爭は砲彈の續く方に最後の勝利が歸すると云はれて居たが▲今となると船の續く方に最後の勝利の歸することが明かになつた▲ことと程左樣に獨逸潛航艇の跳梁は馬鹿にならぬ▲米國などは此の意味から木造船千隻を急造する大計畫を企て▲二億二千五百萬弗の經費支出に議會が協賛した▲愈々實行に取りかゝつたら一年で造つ付けると云ふ勢ひ▲此秋までに一箇月二十萬噸來年からは一箇月五十萬噸は優に造られるとは矢ッ張り米國は大きいナア

傳習舘中學修學旅行を迎へて
鄕と同じ鵑を見る暇かき　虎耳

新舞鶴の富豪喚問さる

……されたる右は軍機保護法違反事件ならん（大阪特電）

須磨子一行大連行

……開催各種の模擬店並に餘興等あり來會者無慮一千名頗る盛會を極めたり

……公會堂に於て盛んなる更任披露の宴を張れるが當地官民有志數十名を招待し……

……赴けり▲經理部長　梶塚經理部長は十日夕刻來安十一日東守備隊……

……る講演を試み終りて有志の歡迎會……に到し十四日市內各……

……を執行の……金一千九百九十八圓餘……にて川崎組の手に落ちたるが竣工期は來る七月十日迄なりと

……等を所持し居り黃海道産寧の者にて先月頃より不良に來り市內を徘徊し……

新田帯革　朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行　京城南大門外　白神洋行支店　新田ベルタ調帶　新田耐水調革　定價表申込次第送呈

御ひとゝ久留米絣には本場久留米絣が向時勢の要求と共に適切なる販賣法は既に定評あり社會需用家に滿足を與へ殊に見本店との共に詳報を仰げり御照會あれば久留米市外三瀦郡大川……久留米絣元　久留米市末永絣店地方係　振替福岡五九〇四番

中古吸入瓦斯エンヂン賣却
一、カイノックル會社製吸入瓦斯エンヂン六十五馬力一臺
一、製吸入瓦斯エンヂン（二十馬力一臺）（十馬力一臺）內地製
交流發電機皮配電盤其他發電用に對する用具一切備付の儘
一、セントヒュガルポンプ（十吋四臺）
一、其他英國製鐵板製皮車數個
一、精米機及シャフト皮車數個（直徑四尺　幅一尺五寸）其他皮あり
附屬十時鑄鐵管一百五十尺
右安價に賣却仕り候
京城南米倉町八一　諸機械並に精米業　安達商會　電話長一九一七番

最新刊

書名	著者	定價
那翁大帝	手塚淸臣	三、〇〇
禪宗哲學	小野淸秀	一、二〇
句佛上人	沼夜濤	二、〇〇
商業英語通信軌範	宮米地英俊	二、五〇
神參朝鮮行政警察法規集	吉田武男	五、五〇
日本刑法第一	牧野英一	一、〇〇
支那名著蒙古遊牧記（東亞研究會編第一輯）		特二、五〇
米國經濟事情研究	內池廉吉	一、八〇
最近調查無盡藏の支那貿易	東洋タイムス編	特三、〇〇
新說土壤肥料百話	冨田文雄	一、二〇
商人の心得べき法律	安達元之助	一、四〇
敬語の研究	佐藤富三郎	一、〇〇
國定修身敎授書	諸澤虎雄	三、五〇
世界の過去現在未來	山路愛山	二、二〇
貧しき人々の群	中條百合子	一、二〇
旅	田山花袋	一、三〇
旅の役者	坪內逍遙	八〇
ニイチエ書翰集	阿辻哲郞譯	一、五〇
歐米文康料理の卷	赤堀菊子	一、〇〇
井上和文英譯	井上十吉	一、〇〇
最新日本歷史解釋	鈴木忠太	八五
基本練習諸證かな帖	京城女學校　島村不老	四〇

京城本町一　電話六〇・三六番　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

うなぎ　目下上物澤山入荷致居候間本年も倍舊の御用命奉待入候　陸軍御用達　川魚鳥類御用　龍山元町四丁目漢江河岸　宇田商店　電話二五番

香り床しき　金鈴香水　美髮となる　金鈴香油　品質優良　本火賣出

立太子禮記念國產獎勵博覽會壹等賞金牌受領　クンシヨ　マサムネ　仁川松坂町　釀造元　吉岡酒造場　電話八二一・振替京城三七〇八

京日案內　普通一回金五十錢　番外一回金一圓

◉有給男女社員至急採用す　京城黃金町一丁目　國民興產株式會社出張所　9
◉代診入用　京城南大門通り農銀裏　司生堂醫院　10
◉女中入用　身元確實にして成るべく初めて奉公するもの　京城大和町二　瀨川　8
◉融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談　京城大和町三の三二（柄澤前）　起木屋　97
◉電話讓物あり　京城南山町三　電話一二〇三　吾鄕　94
館　尾羽毛　御小賓　香月商店　京城明治町二ノ四八　2
恩給年金即時立替　短期無保險取扱確實也　京城南大門外御成町　山口屋　西鮮支店　京義線沙里院　廣川商店　60
電話開通三一四番　京城永樂町二丁目　魚釣具御商　吉備商會　5
恩給年金　低利最長期即時立替　並金錢兩替　短期保險不要確實融通　京城永樂町一　商品陳列舘前　江州屋本店　16
多利　ゴム風船賣出　小賣は三倍以上五倍利す　當店特色は薄利多賣定價表無料送　京城太平通二　電話二六〇六番　太陽商會　48
恩給年金立替　短期無保險　京城若草町一七（金光敎裏手）　電話二三九一番　利子極安即時取引　國江商會　81
◉礦物定量分析　太平町二丁目二五　電話長一三四四　朝鮮公論社左横小路　坂元分析所　86

……圓の資産を有する新舞鶴の造酒家村田八十平は十四日突然其筋より喚問……
舊女官司松よし子……逝去せり（大阪特電）
……二日……一時より奬忠山公園に於て……
……官民五十餘名をスミレド十一日午後六時より支那側の重なる官民を安東……豫定を變更して十二日朝五龍背温泉……
……列車にて北方より來……夜公會堂……に於ける講演會に臨て支那時局に關す……
……者の歡迎會に……
……改築工事の請負入札は十二日民團に……
……午前八時頃行倒れ居るより平壤署より係官出張檢視したるに既に絶……

馴れないので鬱ぎ込んでゐる
動物園に來た愛嬌者の猩々君

此の頃動物園に來た猩々君は頗る御愛嬌者ですがまだ京城が馴れないのでイヤに鬱ぎ込んで考へてばかり居ります、それに二三日前まで

×寢室も居室も一緒 くたらだと云ふので『ヘン馬鹿にしていらこんな小つぽけな部屋に押籠めたりなんかしてさ俺これでも南洋のスマトラに居た頃は森林中の大木の上で大きな生活を爲て居たんだい』と御機嫌頗るよろしからぬ處から動物園の事務所では早速寢室やら寢函やらを拵へてやりました、年は幾歳になるかよく分りませんが

×頭も禿げ顏色も黑 いし皺も寄て、見た處おぢいさんらしいから大分の年輩であらうとの事です此の頃は頭を抱へて考へ込んでばかり居りますきつとまだ來たばかりで朝鮮語も日本語も分らないから淋しいのでせうよ、隣の室から猿が覗いて何にか話しかけて居りますが、矢張り詰らなさうにして少しも相手に成りません、朝から晩まで默り込んで

×御隱居樣のやうに 肱枕をしてゴロリと假寢をしたり、赤い顋鬚を撫でゝ見たり鉀を叩いたりしてネルの布を引被ぶつて眠つたりして居ります食べ物は一日に牛乳三合とパンとスープとを喰べて居ります西洋料理ばかり喰べて居るなんかたいへん贅澤ですね、此の猩々君は原名を馬來語でオランウータンと云ふのですオランウータンとは『森の人』と云ふ意味だそうです亞弗利加のゴリラやチンパンジーと云ふ黑猩々や印度の手長猿などと一緒に

×類人猿のうちでも 一番人間に似て居ります身の丈けは四尺身體中に赤褐色の長い毛が生へて恰度外套を着て居るやうです手が長くて立つて歩く時でも手の指が土に著く位ゐです、お尻には普通の猿のやうな胼胝や尾がありませんから、人間のお尻のやうです、物を喰べる時も猿のやうに頰に溜める袋がありませんから人間が食べると同じです牛乳などを吞む時は舌打ちをして旨さうに吞んで居ります、最も昔し

×森の中に棲んで居 た頃は洋食なんか喰べて居たわけではありません。其の頃は果實だの草の根だのと云ふものばかり喰べて居たさうです。『ハツクシヨン』なんて口に手をあてゝ嚔をする處だけは一寸上品ですけれど手の掌に著いた鼻汁を舐めたりあとから鼻の穴に指を突込んでペチヨ〳〵舐めたりする處なんか穢くて厭やですねそれでもどう見ても人間の親類筋の如に見ねますから非常に面白いです

遺跡王樂寺
李王殿下御訪問

李王殿下一行は十四日午前十時三十分自動車にて咸興御出發沿道多數の見送りを受けられつゝ春風一路永興に向はる、午前十一時五十分殿下には途中王樂寺の遺跡を訪はれ更に車頭の日章旗を長白山颪に飜へしつゝ御進發高城嶺の絶頂にては北の方より山雨襲ひ金坡黑原嶺上等は春雨の風情一入に勝で自動車は十四里の行程を疾驅して一路平安永興御著殿下には之より特別列車にて釋王寺に向はるべし（十四日永興にて特派員發）

早川貞水逝く
心臟痲痺にて

講談界の先覺早川貞水は十四日午前三時心臟痲痺にて逝去せり（東京特電）

劇評家 杉贋阿彌氏逝去

劇評家杉贋阿彌氏は十三日午後十時腦溢血にて逝去せり（東京特電）

能樂界の耆宿 櫻間翁の危篤

能樂界の耆宿櫻間左陣翁は本年二月以來健康を害し東京日本橋檜物町の自宅にて橋本博士の診療を受け居りしが十四日危篤に瀕し到底回復の見込みなかるべしと翁は本年八十三歳なり（東京特電）

土地商租問題
支那人暴行
在留鮮人の憤慨

在留奉天朝鮮人十六名は土地商租問題に就き奉天を去る六十支里の處にて支那暴民の爲め捕縛され奉天に護送されたるも十三日領事館より釋放されたり右事件に就き在留鮮人は大會を開き强硬なる決議を爲し領事館に上申すべしと（奉天特電）

米國飛行家
翦風號で鳴尾へ

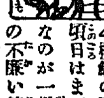
十三日八日市より翦風號にて深草練兵場に著陸せる米國飛行家チャムピオン氏は十四日同練兵場發二十分にして鳴尾に著せり（大阪特電）

有樂館の忠臣藏
本紙讀者に割引

目下有樂館に上場中なる實説忠臣藏は東京小松商會が二萬圓を投じて撮影せる大寫眞にして大序より大詰まで全十二卷百二十段返しにて登場俳優の多き撮影の仕掛の大なる何れも大に見るべく然して過般來より餘興として出演し居れる露西亞女優ルボーフのダンス及び喜劇等あり本社配付の割引優待券持參の人は一二等半額三等十錢にて觀覽し得る由

五星對鐵道野球戰

十三日午後三時龍山鐵道局公園に於て五星學校選手對鐵道局選手の野球戰ありたり當日は五星は初めて深林をバツテリーとして出で六回以後澁林のバツテリーを以て鐵道に當る鐵道正投手を出さず澁谷、田中にて之に備ふ朝鮮新聞社主催の野球大會前の事とて異常の緊張裡に充ち稀れなる盛況を呈せり審判は林氏にして鐵道先攻に始まり互に奮戰の結果五對四の惜しき敗北は五星の頭上に墜ちたり



△櫻鯛の脈い元山も頃日はまだ一尺位ゐなのが一尾二圓內外の不廉い値段それも數日前にちよいと漁れたきりまだ一向に姿を見せぬ△しかしこれからは追々櫻鯛季節にならうといふ噂さ△それに元山の釣魚は六月からが最もよく最近出來た防波堤の捨石附近には少さいきんめばるならば幾らでも釣れる△殊に大きなめばるならば沖の波止場の朝夕がよく長さ一尺あまりのあぶらめならば六月中旬からが時期であらう△夏のすゞきは八月頃で餌はいゝだの生き餌でつれる△小鯛の一二寸位ゐので御辛抱ならば波止場の附近でパクツいつぱい位ゐ釣る譯の無いことゝのはなし△元山はいよ〳〵海と鮮魚の元山である

國技館大相撲 夏場所成績表（表中○勝●負）

東の方

力士	一	二	三	四
太刀山	や	や	や	や
鳳	○	○	○	●
伊勢濱	○	○	●	○
朝潮	●	○	○	○
黒瀬川	●	○	○	○
眞砂石	○	●	預	や
土州山	○	●	●	○
大鳴門	○	○	預	●
千葉崎	○	○	○	●
敷島	●	○	●	預
大戸平	●	○	●	○
紅葉川	●	●	●	○
玉手山	○	●	●	●
錦島	○	●	○	○
浦の濱	●	●	○	●
石山	○	●	○	●
鶴渡	●	●	○	●
八甲山	●	○	●	○
鳴門洋	●	○	●	○
明	○	●	○	○
綾の川	○	●	●	●
柏戸	○	●	○	●
若島	●	●	●	○
勝星	四十三			

西の方

力士	一	二	三	四
大錦	○	○	○	○
西の海	○	●	○	や
栃木山	○	○	○	預
兩國	○	●	●	●
九州山	○	○	●	○
逆鉾	●	●	●	●
宮城山	●	○	○	○
釋迦嶽	●	●	●	○
一湊	●	○	○	●
駒泉	●	●	●	○
源氏山	●	○	○	●
宇都宮	○	●	●	○
小常陸	○	●	○	●
綾瀬川	●	●	預	●
岩木山	●	○	預	●
達の矢	●	○	○	○
常の花	○	○	○	●
大潮	○	○	○	○
清瀬川	●	●	●	○
彌高山	●	○	分	●
大の高	●	○	●	○
龍ケ崎	●	○	●	●
對馬洋	○	●	●	○
勝星	四十四			

夏場所
四日目の勝負（十四日午後十時著電）

勝　負　勝　負

玉柳　朝見藤　／　鶴ケ濱　峰櫻
黑雲　稻葉嶽　／　若常陸　手柄山
峰の森　高千穗　／　中の川　國ケ岩
八重高　成瀬山　／　三杉磯　殿
金龍　大の里　／　鵬　浪泉
玉の川　大門岩　／　明　彌高山
大の高　鶴渡　／　達の矢　琴ケ浦
宇都宮　石山　／　駒泉　藤の川
釋迦嶽　柏戸　／　對馬洋　玉手山
大潮　大鳴門
宮城山　浦の濱　／　紅葉川　逆鉾
伊勢濱　一湊
栃木山　預　敷島
九州山　鳳

▲中入後

若島　龍ケ崎
錦島　常の花
鳴門洋　小常陸
八甲山　源氏山
綾瀬川　大戸平
十州山　岩木山　／　黑瀬川　綾川
朝潮　兩國
西の海休場　眞砂石
大錦　千葉崎

……く突き張り進み稻の土俵際に踏み弓なりに反らして殘すを突きたほして黑の勝▲若常陸に手柄山は若突張つて飽くまでも寄るを見せて手柄の堪へるところをグイと引き落しての勝に中々味をやつたり▲高千穗に峰の森は左四ツ高寄進んで下手投を打つを踏殘して上手投を打ち返して勝▲國ケ岩に中の川は無雜作に突出して中の勝▲八重高に成瀬山は成瀬突張りを取りて逃身に手繰り出して勝▲殿に三杉磯は烈しく突き合ひ一寸右四ツとなりしが三杉突き負けて再び突き合ふ内三杉勢ひ込み右を差して殿が足癖に防ぐを强引に拔き上げ持ち出して勝▲金龍に大の里は金右を差して寄進み大のが引き落さんとするを差手に突きつけて寄切る▲鵬浪に浪泉は突き合ひ浪下を潜つて右を差せば浪左上手を引いて强引に寄り進み寄り倒す際浪打棄を見せしが已に體なく浪の勝▲大門岩に玉の川は玉飛込んで大門の左足を取りつゝ大門のタヂログところを透かさず押進み左手を持つて渡し込む▲彌高山に明は左四ツ一本突き合ひしのち明得意の外掛けに搦れ込んで浴びせ倒し明の勝▲大の高に鶴渡は右四ツ鶴寄進むを高踏殘して二本差となり鶴それを門に極めて一寸押合ひしのち高外掛けに切返して勝▲達の矢に琴ケ浦は烈しく突き合ひ琴四ツに渡らんとするを達嫌つて突き除け突張り進む琴サラバと撥いて右を差して寄り進むもハナを逆小手投を打てば琴つて勝▲駒泉に藤の川は駒突張り進むを藤殘して廻り込み懷ろに突いて押すを叩き込んで駒の勝▲釋迦ケ嶽に柏戸は左四ツ柏の小手投利かず寄り切つて釋迦の勝▲宇都宮に石山は石鋭どく突きかけ懷ろに突いて押すを土俵際を廻つて殘せば石更に鋭ひ込んで突き進むを宇都宮土俵際に逃身に捻つて勝▲對馬洋に玉手山は左四ツ玉手内掛けに行くを對馬拔き上げ玉手が外掛けに防ぐを頓着なくそのまゝ吊身に寄切つて對馬の勝

▲大潮に大鳴門

は好取組なる鳴門突張るを潮撥いて右四ツに渡て鳴門頭を下げて差手に釋を引きを一呼吸ののち鳴門勢ひ込んで寄るを廻り込みつゝ上手投を打てば美事に極まつて大潮の勝は大喝采▲宮城山に浦の濱は左四ツ吊らんとするを宮城殘しつゝ浦が倆くまで吊らんとするを宮城土俵際に下手投を打つて勝▲逆鉾に紅葉川は逆の突いて出るハナを紅葉川右手に飛び込んでサツト叩けば逆前にノメツて四ツ這ひとなる▲一湊に伊勢の濱は右四ツ吊り出して伊勢の勝

▲栃木山に敷島

は敷鋭く突かけて左を差せば栃木左を筈に當て押すを土俵際を廻つて殘したるが栃木は逃さず正面溜りへ寄み足に押進み將に押切らんとする刹那敷體を弓なりに返して右手へ打棄り軍配は敷に上がりしに溜りの控へ力士より敷の打棄りは已でに土俵を踏切つてのちなりとの物言ひ付け檢査員の内にも之を認めしといふ者あれば觀客は何れも敷島の勝を絶叫し滿場殆んど總立ちとなつて喧囂を極めたり、斯くて四本柱の檢査員伊勢ケ濱、二所ケ關、關の戸、阿武の松東溜りと交涉して一時兎も角も土俵の上の預かりにせんとしたるも控へ鳳は是非此處にて解決を附けられたしと頑として肯かず協會より擧ケ崎熊ケ嶽の兩檢査員及び取締り友綱出張して東方を慰撫し紛紜三十分に及べるも解決せず斯くて一時土俵の上を預かる事とし後刻協會にて解決する事となれり

▲九州山に鳳

は當日呼物の好取組なり一合して九左を當てゝ押すを鳳殘して左を差さんとするその手を取りてグイと引き落せばパッタリ前に落つるところを横から駄目を押して美事に九州の勝は滿場大喝采なりき

▲中入後

龍ケ崎に若島は突き合ひ突き出して若の勝

▲常の花に錦島

は突突張つゝ右差となれば錦その手を取つて張引のトツタリ美事に極まる▲小常陸に鳴門洋は突合突出して鳴門の勝

▲源氏山に八甲山

は源氏右を差して寄るを八甲廻り込んで右を筈に當て反對に押進み源氏が土俵際に打棄らんとするを體を預けて押倒す

▲清瀬川に大戸平

バツタリ左四ツ大戸强引に振り廻して寄り切らんとするを外掛けに浴びせ倒して清瀬の勝▲岩木山に土州山は岩木の突張るを土州反對に押倒して勝▲綾川に黑瀬川は左四ツ互ひに右上手を引いて一寸寄合ふ内黑瀬捻りつゝ得意の二枚蹴り奇麗に極まつて勝

▲兩國に朝潮

は兩立ち上りざま朝の右手を引張り込み左足を絡んで得意の掛投げに行くを朝鎧を衝きつけて崩れかゝつて寄倒し朝の勝▲西の海に眞砂石は休場▲大錦に千葉ケ崎はガツキとばかり左四ツに互ひに出るか否や錦褌を引いて無雜作に吊し出し錦の勝にて打ち出したり

▲五日目の取組

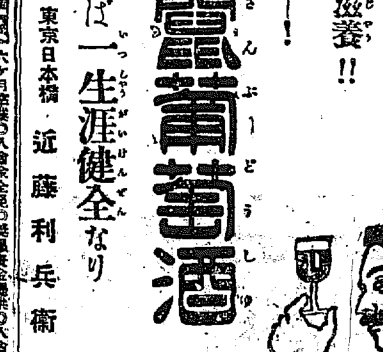
（琴ケ浦　大の里）稻柳　大潮（八甲山　大門岩）（鶴渡り　清瀬川）
（若島　綾川）（玉手山　小常陸）（錦島　駒泉）（敷島　大の高）
（藤の川　宮城山）大鳴門　源氏山（眞砂石　常の花）
（黑瀬川　宇都宮）（土州山　栃木山）朝潮　大錦

▲中入後

（石山　龍ケ崎）（浦の濱　彌高山）（紅葉川　達の矢）（大戸平　岩木山）
（柏戸　一湊）（鳴門洋　對馬洋）（明　逆鉾）千葉崎　九州山
（伊勢濱　釋迦嶽）鳳　兩國

△西の海休場　西の海は足を痛め四日目より休場せり而して右取組中大鳴門に源氏山は本社の懸賞豫想勝負なり

一度親めば忘るゝ事の出來ない　この美味！この滋養!!
誰人も召し上れ――！
美味滋養　蜂印香竄葡萄酒
朝夕飮用せば一生涯健全なり
東京日本橋　近藤利兵衞



蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる良品なり　毎朝夕一杯づゝで血を增し肉を肥す

會員大募集　速成文章講義録
六ケ月卒業◎入會金全免◎獎學資金提供◎入會の最好機其他六特典◎內容完備文章通俗平易讀し易く何人にも了解し易き現代唯一の模範的講義録◎內容見本付規則申込次第進呈
男子部・女子部あり
東京神田區錦町三丁目　帝國文章學會

花王石鹸製造元　鶴香水關東代理店　東京　長瀬商會
鶴香水日本輸入元　花王石鹸關西代理店　大阪　大崎組商會

短期速成　建築科講義録
新聞界一大驚異―僅か一ケ年にて建築の奥儀を極む―講師は斯界の專門大家―會費は低廉比なし―講義は平易明瞭にして實用的也―見本附規則申込次第郵呈―此際の入會者に種々特典あり
東京市麴町區飯田町三　帝國工業教育會

安心第一
として如何なる場合にも萬人に喜ばれる菓子は
森永ミルクキャラメル
煙草代用

顧問　藥學博士　丹波敬三
技師長　藥學博士　岡田恭吉

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百六十五 心頭の波瀾【三三】の四

男爵の病室は、此の宏い建物の中でも最も北極に近い丑寅の一隅であつた。長い廣い廊下續きではあるが母屋の方からは、全然別天地を形成つて居るのであつた。蓋し、病氣靜養を理由として、桑原と聯合の失敗事業に關する紛糾問題を避けんが爲めに、故意に此の懸隔れた場所を選んで、潜伏して居られるものとは、世事に疎い幸三郎の胖雪にさへも、それ程多くの考慮を要せずして首肯かれた。

今夜に限つての事であるか、それとも平素斯くの通りかは知らぬが、晝を欺むくばかりの白熱瓦斯の光りが、二間にわたつて皎々と輝いて居た。幸三郎は、恐る〱その室の前まで進むだ。病室とは云へ、別段御などは延べてもないやうだし、脇息に凭れて悠然と控へられた男爵の面にも、それと氣付くほどの衰弱の影は宿つて居ぬらしいのである。

『異の病氣ではない。矢張僕の推測の通りだ。』と、幸三郎は、腹の中で然う思つた。

『閣下、倉橋で御座います。御病氣と承はつとりましたので、殆んど毎日のやうにお屋敷へは推參して居りながら、拜芝の儀は差控へて居りまして御座いますが、御經過は如何でお在遊ばします。』

『いや、倉橋君ぢやね。乃公もの、君の消息は家族の者どもから聞いて居りつゝ、ついの、折角君が滿身の努力を竭くして大作に從事しとる所へ、乃公がやうな無風流漢が飛び出して邪魔を入れると如何かと思つての、故意と今日までは控へとりましたぢや。お蔭で病氣の方は大分さつぱりしましたが、實はの、病氣以外の大病が去々月來惹起つて居るもんぢやで、それが爲めに此迺り閉門的の生活を爲とるやうな譯での……ま、まあ、その大病問題の方はなか〱早急に治療が付きさうにもないんぢやが、君の大作の方は、美事完成を告げたと云ふ話ぢやから、今晩は一ツそれを拜見旁々晩餐でも進げやうと思つての……』

男爵は、相變らずの碎けた平民的の調子で、鬪羽觜に輕い戰ぎを與れながら言はれた。

『御厚志の段は、幾重にもお禮を申上げます。固より拙劣な畫では御座いますが、自分の力の能ふ丈は骨を折りました了簡で御座いますから、情願御忌憚のない所を御批評下さいますやうに……はい』

『何樣、藝術家の意氣は然うなうては行くまい。早速ながら拜見すると爲やう』

男爵は、二人の小間使に命じて、ひどく一變の金屛風を建て展べさせ、脇息を離れて、稍少時は呼吸をも繼がずに、その雄大なる月と怒濤との畫面に見惚れて居られた。

『うむ、恐れ入つた。倉橋君、愉快だ、にも愉快な出來ぢやね』

此の時の直則閣下の心頭には寄しくも靈威的の閃めきがわたつた。精しく云へば、畫と自分との心が一致合體したやうな一種無限の共鳴から來た聖なる愉快さを感せられたらしいのであつた。前に坐つた胖雪の頭は、男爵の此の一言に釣り込まれでも爲たかのやうに、覺はず三四寸前へ垂つた。

『閣下……花泉閣下、拙惡なる私の畫に依つて穢されました貴重の御屛風を、永久に此儘に爲て置く事をお赦し下さるで御座いませうか。』

『君、勿體ない事を言ふちや不可へ、乃公は人間としての位地から云へば、乃公は貴族で、君は一個の平民ぢや、否、然う言ふてけ失敬ぢやが、君は金も身分もない無名の放浪畫家ぢやが、併し、乃公は此の大作を一見したと同時に、初めて君と云ふ大なる藝術家を認むる事が出來たんぢや。倉橋君乃公は世辭の愛嬌のと云ふ事は大嫌ひぢやが、今こそは衷心から君に感謝する。君の藝術の前に感謝するんぢや。そして君の此の畫面の裡には、逆捲く怒濤にも優つた精神上の大波瀾が重疊して居るのにも拘はらず、君は此の大空の明月が、怒濤を睨つて輾り昇るが如き皎々の精神と拔群の勇氣とを以て、此の大作を成就した努力と苦心とが充分に認め得られるのである。君……胖雪君、今更ながら直則は君に愧づるよ。常に黄白の光と肉慾の淫樂とのみを人間萬能の標と見做して、華族の身で居ながら、柄にもない多方面の利慾事業に緊はつたり、又目前の快樂を貪らんが爲めには、他人の手活こなつて居る解語の花を引付け、乃至は清淨無垢の乙女を苦しめたり……』と此處まで言ひかけて、直則男爵に、我ながらハツと氣付いたやうに聲を途切らせ、倉橋の膝の邊りを眈と凝視めて、何か良心の責苦に絕ねざらん如き面色であつたが、聽て幽かなる溜息を唄とばかり吐かれた。

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府永樂町(商品陳列館通坂の上) 電話一一〇二番

メリヤス專門 ⊕尾張屋メリヤス店 京城本町二丁目電話六一四番

ハンカチ タオル 京城本町二 吉尾商店 電二四八四番

◇故鄕での大隈侯 佐賀人の大歡迎

大隈侯爵は十八日に郷里佐賀へ歸省するが之は侯爵として、始めて故鄉に錦を飾る譯なのである尤も侯の故鄕には、侯を記念するやうな建物も無い許りか其生家もなくて、今は宿屋住ひだが夫れでも滯在中は訪問者が朝から晩まで陸續市を爲すと云ふ有樣中には侯爵の幼馴染だと云つて、腰を弓なりにした百姓などが御機嫌伺ひに來るさうだが侯爵は之にも萬遍なくあるんである式の愛嬌を振蒔いて全く若い時の八太郎に還るので、佐賀人は非常に歡迎するんであるんだ

◇行司の失敗 押して出勤致し候

必死で星を爭ふ相撲場でも元來の剽輕な連中の集まりだけに、毎年可なり滑稽な話しが出ると云ふ中でも可笑しかつたのは、何時の相撲だつたか、恐れ多い話ではあるがなにがしの宮殿下が相撲場に臨場あるべき筈なのが、急に御出でが無くなつたことを行司の某が土俵に現はれて恐る〱報告した本日宮殿下御臨場の筈でありましたが御差支あり御臨場之れ無く』までは無事であつたが之れからが平生の口癖が迸り出して『押して出勤致し候』とうつかり遣つて了つたので、滿場わつと湧立つた、當人は面目無く扇子で笑ひを押へ乍ら引下つた揚は今でも一つ話になつて居る相だ

□京城俳句會＝第四回

合て犬吠ゆし此家梨花白し 雅蹈
潑千さで陶に壺や梨花の雨 同
鋤き返す土の乾きや梨の花 同
肥十荷運べば梨花に午晌哉 同
梨の花月照るとなき樹の雫 小翠
梨花散るや庭に闌さに高き緣 同
納屋裏に臼挽く廂梨の花 同
梨花の陽を除けて病む眼に彫る版木 同
谿村や梨花一沫の月の底 背丘
明日嫁くと雨を淋しむ梨の花 同
飼馬桶垣に乾きて梨花白し 同

非朝氏を迎ふ

汀まで届く影なる梨の月 同
戻り來て鎖す扉に日なし梨の花 迦南
竿雫落ち窪む土や梨花の雨 同
梨花の雨に靜さありぬ庭の池 同
月の夜を子の臆病や梨の花 北星
築き足して壁塗り目や梨の花 同
江に沿ふて立つ牛や梨花の邑 耕伯

蒼兵衛

鬪花咲くや薬焼草藏す兵器庫 同
母に狹く風呂火暗しや梨花の月 田打夫
食ふ時は銅鑼打ち鳴らす梨花の寺 浩一郎
花梨や明日嫁く姉に纏す体を 山民
夫子寢て書堂靜かや梨の花 嵐亭
犬死して飯時淋し梨の花 竹水
梨花の月更けて隣へ貰ひ水 草綠
柿ならし馬草を食む梨花の宿 海心

新刊紹介

▲フースヒー(三七) 五錢東京府下澁谷一二二其社
▲活動寫眞雜誌(三週年記念號) 二十五錢東京赤坂一ツ木町六五其社
▲柔道(五月號) 二十錢東京小石川大塚坂下柔道會本部
▲日の丸(六月號) 八錢東京府澁谷東エビス文敎社
▲日本幼年(六月號) 十二錢東京々橋區尾張町一東京社
▲國語敎育(五月號) 二十五錢東京牛込白銀町二〇育英書院

商況

大阪期米(十四日後場)

	高値	安値	止め
	一六、四五	一六、四七	一六、四四
	一六、八八	一六、八八	一六、八八
	一七、四四	一七、四七	一七、四〇

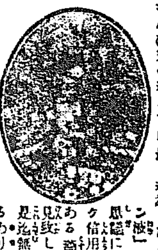
東洋製糖 大阪商船 二四〇、〇〇 一八六、〇〇 一二二、九〇 三七四、〇〇

……錢高に寄付たるも崩れに新規に買物多く忽ち六十五錢と七十四錢と上伸したるが高値は又利喰に賣物多く更に六十七錢と押したるが押目は依然買物多くて二十九錢と新高値に飛騰したるが利喰の賣出にて……人氣は好押目……買直し來り六十五……に上りたり

▲人氣沸騰す ……

▲現物界 ……

出來高 七萬七千四百五十丁 ……



わきが は 人からきらわれる

夏のアセが出る時ヨリ今が早く治癒る

藥學界に名譽ある陸軍一等藥劑官音尾博士先生は男女わきがの人へ氣の毒に思ひ數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨク利く信用と責任ある藥を創見した是非無責任なるありふれた一寸數人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も從是と違つてアセの出ぬ今の間に一日も早く此化學的藥物療法にて全治の嬉しき御身となられよ喜びの感謝狀續々來着すへガキで申込めば直に說明書詳細進呈す

●音尾博士の創見 東京府下淀橋町柏木百弐拾番地 東京博愛藥院

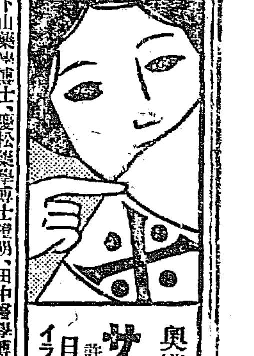
小兒良藥 本舗樋屋 主治効能 脾疳 驚風 五疳 解熱 疳瘡 痳疹 樋屋奇應丸 大阪天滿橋 樋屋合資會社 (全國到る處の藥店にあり)

腦病良藥 レーベン

岡田博士を初め森、日向、飯島、福田、内田氏等十有餘名の諸大家が、有効なることを證明せらる推奬せらるゝは本品は最高の營養質と腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり故に腦病、神經衰弱、眩暈、不眠、記憶力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ。レーベンは容積こ体裁を費らず服用量極めて少くして効能極めて大なり

藥價(三十錢・五十錢・一圓六十錢・八十五錢)

東京銀座弓町 電話京三〇八番 中南定太郎 振替東京七二八番
大阪安土町堺筋 電話本三〇七番 中南定太郎 振替大阪三四番
信用ある藥店に有り無ば直接注文を



特約店 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番

淋病新藥 內服 リヨール

故下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定 笹川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

▲本品は殺菌力を有し且つ絕對に胃腸を害せず膀光カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴、其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す

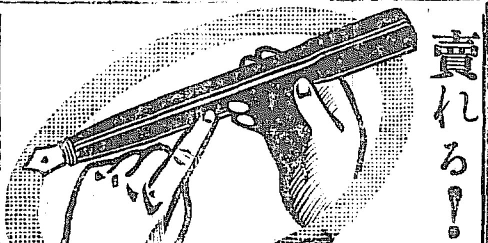
百粒入壹圓六拾錢 五拾粒入九拾錢 廿五粒入五拾錢 說明書無料贈呈す

○到處藥舖に販賣 發賣元 東京日本橋區小網町十一 ツヨール商會 關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衛

散歩に 仁丹 召上れ

●毎朝のむ仁丹、終日愉快

金言 ■思想は自由なり シエクスピア



賣れる！賣れる！飛ぶほど賣れる!!

弊社代理部が幾多の萬年筆中より選拔し數萬の讀者より素晴らしき評判の

最新一千九百十七年式 紐育ピユーメル會社製正十四金ペン

パイン萬年筆

定價 押出式萬年筆 金六圓三十錢 無飾 / 押出式飾 金五圓三十錢 / インキ止式 金三圓八十錢 / 寶用向 金二圓八十錢 / 學生向 金四圓九十錢 無飾

發賣元 京城大和町(振替京城三〇〇番) 京城日報社代理部
陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

自然破損は一ケ年間交換快諾 共同購入は特に割引

內科 胃腸病 診察從午前八時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七九二番

昔 今 効能 一逆上を引下げ通じをよくし 梅毒其他諸毒を除す 効能で賣れる ひゑぞもり 電南七三九 振替大阪七三

男の生殖器病

生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、性慾減少腦神經衰弱手淫及過房等による諸症の人は自宅で簡單秘密に特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧くが如しハガキで申込あれ圖入說明書を無代密送す來所者には醫院部にて懇切說明す本器は博士數名の効驗卓絶なる證明あり

東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京 眞空療法研究所

寫眞 出張撮影 銅版 亜鉛凸版 最も熟練せる技術を以て敏速に調製仕候 京城日報社寫眞製版部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸 五月十五日後四時出帆
○君か代丸 五月廿一日後四時出帆
○秀吉丸 五月十九日後四時出帆
○神代丸 五月 日後四時出帆

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行
相模丸 五月廿三日正午出帆
西砂丸 六月三日正午出帆
三河丸 五月 日後十一時

仁川海岸町 電話十一番 堀 回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 會下山丸 五月十二日午後入港 五月十四日前十時出帆

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 春日町(電話二四四番) 田口回漕部
元山代理店 南大門(電話二六八、二〇七) 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○江原丸 五月廿四日 ○京畿丸 五月廿九日 ○黃海丸 五月十九日 ○成鏡丸 五月十九日 門司より釜山各港寄港 釜山發
○穩城丸 ○會寧丸 ○鏡城丸 五月 日 元山より各港經由雄基行 元山發
○昌平丸 五月 日 元山發
○盈德丸 五月 日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 浦項 釜山發
○三浦丸 五月 日 長承浦、龍水、巨文島、濟州島各港寄港 釜山發
○海州丸 ○新昌丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 每日 釜山發
○平康丸 五月 日 元山發
○順天丸 木浦發
○慶興丸 五月 日 木浦發
○公州丸 五月十六日 木浦發
○麗水丸 ○香州丸 五月十八日 仁川發
○宗信丸 五月十五日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 每日午前 仁川發

本社 京城南大門通 京城荷客取扱店 松原運送店(電話長一七〇番)

大阪商船仁川出帆

◎關門、神戶、大阪行 ×汕頭丸 五月十六日後二時出帆 ×汕頭丸 五月廿九日後二時出帆
◎群山、神戶、大阪行 須磨丸 五月 日後五時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 安東丸 五月二十日後二時出帆 安東丸 六月七日後二時出帆
◎橫濱行 ×遼州丸 五月廿九日後二時出帆 △福州丸 五月卅一日後二時出帆
◎南浦、關門、神戶、大阪行 須磨丸 五月廿二日後二時出帆
◎鎭南浦、大連行 ×安東丸 五月十五日後二時出帆 ×安東丸 六月二日後二時出帆
◎大連直航 ×遼州丸 五月廿四日正午出帆 △福州丸 五月廿六日
◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆) 宮島丸 六月四日後十二時出
◎清津行(元山出帆) 宮島丸 五月十七日後十二時出
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 五月十八日前六時出帆 基隆丸 六月三日後四時出帆

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二五、二〇、二四五、五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 岡奥旅館 電話二六一番

汽船釜山出帆廣告

○○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 五月廿九日後五時出帆 立神丸 五月十八日後五時出帆
○○元山、清津、浦鹽行 和歌浦丸 五月十七日後十時出帆 立神丸 五月廿八日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天長丸 每月二日九日十六日廿三日午後十時出帆

本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部